



2025

京都芸術大学
学生募集要項

入学定員の増加に関するお知らせ（認可申請中）

以下の学科において入学定員増加の認可申請を文部科学省へおこなっております。

- ・情報デザイン学科

この募集要項においては、正式に認可がおりるまで、各学科の入学定員は現状の情報を掲載いたしますのでご注意ください。

変更後の詳細はWEBサイトをご確認ください。本件に関するお問い合わせは以下フリーダイヤルまでご連絡をお願いします。

大学WEB サイト
募集定員ページ



【お問い合わせ先】

京都芸術大学アドミッション・オフィス

TEL：0120-591-200

目次

02	目次／エントリー資格・出願資格	37	Q&A よくある質問
03	コース一覧	39	試験会場
04	オープンキャンパス・入試スケジュール	40	合否判定／合格発表／追加合格
06	総合型選抜「体験授業型入試」について	41	入学手続
08	総合型選抜 体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期(エントリー方式)	42	入学辞退・入学取消
10	体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期 授業内容・評価ポイント・持参物	42	その他の入学試験
22	総合型選抜 科目選択型入試Ⅰ期	43	入学後に必要となる教材・機材
22	一般選抜 科目選択型入試Ⅱ期	44	取得できる資格
26	総合型選抜 面接型入試Ⅰ期・Ⅱ期(オンライン)	45	住まいの案内
28	一般選抜 大学入学共通テスト利用型入試Ⅰ期・Ⅱ期	46	奨学金制度／教育ローン／創作活動・奨励制度
30	エントリー・出願に必要な書類	48	都道府県別志願者高校一覧
31	エントリー・出願に必要な書類(面接型入試指定提出物の詳細・規定)	50	教育目標(ディプロマ・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／アドミッション・ポリシー)
32	エントリー・出願の手続きの流れ		
36	入学試験共通の注意事項		

エントリー資格・出願資格

外国籍で「留学」の在留資格を得ている(または得る予定の方)は、外国人留学生用の入学試験を受験してください。
この募集要項ではなく「外国人留学生募集要項」を本学WEBサイトよりダウンロードしてご覧ください。

国籍 次のいずれかに該当する者

- (1)日本国籍者
 - (2)日本国籍を含む重国籍者
 - (3)入学に際して「留学」以外の適切な在留資格を有する外国籍者
- ※(3)に該当する方は、別途書類の提出が必要です。詳細はP.30を参照してください。

年齢・学歴 2025年4月1日時点において、以下①②の条件を満たす者

- ①年齢：18歳以上の者、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する者。
- ②学歴：次のいずれかに該当する者。
 - (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。
 - (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
 - (3)外国において、正規の学校教育における12年目の課程を修了した者、または12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者。
 - (4)文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
 - (5)文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者。
 - (6)高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)に合格した者。
 - (7)上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者(文部科学省Webサイト「大学入学資格について」をご確認ください)。
 - (8)本学において、相当年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。(個別入学資格審査)

※「個別入学資格審査」についての詳細は、アドミッション・オフィスにお問い合わせください。

※「他大学等に在籍中の場合」は、他大学等を中途退学して本学に入学することになります。

退学日(退学が承認される日)が2025年4月1日以降になる場合は入学を許可できません。

※2025年3月31日までに上記資格を満たすことができなかった場合、入学許可後であっても入学許可を取り消します。

追加要件 面接型入試「離島在住者対象型」に出願する場合は以下を追加要件とします

海上保安庁「海上保安の現況」において本土以外の島に設置されている高等学校を卒業または卒業見込みの者

※広域通信制学校による本校所在地が離島の場合を除く

コース一覧

学科	コース	定員	学べる領域
美術工芸	日本画	210	岩絵具表現 墨表現 箔表現 デッサン・写生 古典絵画模写 表現のための技法・素材研究 日本画を通しての日本美術史
	油画		油画 版画 デッサン テンペラ・フレスコ ドローイング デジタル表現 美術史・絵画史 鑑賞と読み解き 展覧会運営
	写真・映像		写真 映像 現代アート 写真史・映像史
	染織テキスタイル		染め 織り ファッションテキスタイル インテリアテキスタイル 伝統工芸 ファイバーアート 現代アート 生活雑貨
	総合造形		彫刻 陶芸 現代美術 3Dモデリング デジタルファブリケーション
	アートプロデュース		アートプロデュース 鑑賞教育 コミュニティデザイン 美術史・美学・美術批評 博物館学 アートプロジェクト論 文化政策
	文化財保存修復・歴史遺産		文化財保存修復 (民俗文化財・東洋書画・文化財科学)・歴史遺産学 (フィールド調査・伝統文化・デジタル考古学・遺跡庭園学)
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	200	アニメーション CG ゲーム キャラクターイラスト コンテンツプロデュース UIデザイン VFX サウンド 脚本 メディアアート
	マンガ		ストーリーマンガ デジタルコミック コミックイラスト 小説コミカライズ マンガ編集 マンガビジネス マンガ研究
情報デザイン	ビジュアルデザイン	180	グラフィックデザイン 広告 セールスプロモーション 商品企画 エディトリアルデザイン ロゴデザイン イベント企画 サイン計画
	イラストレーション		イラストレーション グッズ・雑貨デザイン 商品企画 グラフィックアート 展覧会企画 カルチャー セルフプロモーション
	ゲームクリエイション		企画 ゲームデザイン グラフィックデザイン UI/UXデザイン 3DCG AI シナリオ ゲームフィクション カルチャー ゲーム史
	映像クリエイション		映像 UI/UXデザイン モーショングラフィックス 3DCG CM MV アニメーション SNS・流行 動画企画・配信 BGM
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン	75	電機製品 家具 自動車・自転車など IT・IoT製品 文具 生活雑貨 伝統産品 照明器具 福祉関連 ゲーム・玩具 食器 UXデザイン
	クロステックデザイン		企画 サービスデザイン DX IoT テクノロジー プログラミング ネットワーク マーケティング ブランディング ビジネス (経営・起業)
空間演出デザイン	空間デザイン	60	ソーシャルデザイン 企画 ディスプレイデザイン インテリア 地域デザイン プロジェクトデザイン ブランディング 展示 生活プロダクト
	ファッションデザイン		ファッション 企画 ジュエリー ソーシャルデザイン ブランディング 伝統文化デザイン 地域デザイン 雑貨デザイン VMD スタイリング
環境デザイン	建築・インテリア・環境デザイン	70	建築 住宅 まちづくり インテリア 家具 ランドスケープ 庭園
映画	映画製作	90	プロデュース 監督 脚本 撮影 照明 録音 映像美術 編集 配給・宣伝 批評・研究 テレビドラマ CM MV 動画配信 CG合成
	俳優		俳優 声優 ボーカル ダンス アクション 殺陣 アナウンサー ナレーター SNS配信
舞台芸術	演技・演出	90	演技 演出 ダンス ミュージカル 声優 ボーカル 殺陣 劇作 舞台プロデュース 日本舞踊 舞台芸術論 舞台芸術史 作品研究
	舞台デザイン		舞台美術 照明 音響 舞台映像 舞台衣装 大道具 小道具 舞台監督 劇場管理 舞台芸術論 舞台芸術史
文芸表現	クリエイティブ・ライティング	45	小説 戯曲 脚本 エッセイ 取材記事執筆・ノンフィクション 編集 評論 詩 短歌 俳句 ゲームシナリオ 広告・コピーライティング
こども芸術	こども芸術	30	幼児教育 保育 こども家庭福祉 こどもの発達 子育て支援 食育 心理学 ソーシャルワーク あそびのデザイン 保育環境デザイン

合計 | 1050名

オープンキャンパス

コース選びに最適

ワークショップに参加して
興味のあるコースを見つけよう！



こんな人におすすめ

- ・芸術大学への進学を迷っている
- ・やりたいことがまだ決まらない

全コースが
ワークショップ体験を開催

3/23(土)・24(日)

7/27(土)・28(日)

本格的な授業を体験

実際の授業を体験して
コースを深く知ろう！



こんな人におすすめ

- ・コースのことをもっと深く知りたい！
- ・迷っているコースを比較検討したい！

選んだコースの 学びを体験する

体験入学オープンキャンパス
1日最大2コースの授業を体験

4/28(日)

6/1(土)・2(日)

8/24(土)・25(日)



体験授業型入試Ⅰ期先行エントリー可能

入試の中身を深く知る

入試に関する
不安や疑問を解消しよう！



こんな人におすすめ

- ・体験授業型入試の受験対策をしたい！

入試対策オープンキャンパス

5/12(日)

6/29(土)

9/28(土)



体験授業型入試Ⅱ期エントリー可能

PICK UP 1

オープンキャンパスへの参加で

体験授業型入試の

検定料が

20,000円免除！

※2024年実施の入試が対象

● エントリー費用無料

受験(体験授業への参加)に必要なエントリー費用は無料。

● 検定料を20,000円減免

体験授業後のエントリー結果発表で「出願可」通知を受け取り、入学の意思があり出願する場合は、検定料35,000円が必要。2024年2月-9月実施のいずれかのオープンキャンパスに参加している場合は、検定料を20,000円減免。

検定料 35,000円 $\xrightarrow{20,000\text{円減免}}$ 15,000円

検定料減免対象の
オープンキャンパス 2/10(土)・11(日)、3/23(土)・24(日)、4/28(日)、5/12(日)、
6/1(土)・2(日)、6/29(土)、7/27(土)・28(日)、8/24(土)・25(日)、9/28(土)

入学試験

体験授業で受験



1日の体験授業を通して
取り組む専門課題で受験

受験生に最も
選ばれている入試です

募集定員

I期 50% II期 10%

詳細 P6-21

体験授業で
入試にチャレンジ

体験授業型入試I期 [エントリー方式]

9/13(金)・14(土)・15(日)

体験授業型入試II期 [エントリー方式]

10/12(土)・13(日)

得意科目で受験



「鉛筆デッサン/国語・
英語/小論文」の中から
得意な科目を選んで受験

募集定員

I期 10%

II期 10%

詳細 P22-25

科目選択型入試I期

11/22(金)

科目選択型入試II期

1/30(木)

個人面接で受験



20分の個人面接で
今までの「実績」を
総合的に評価

募集定員

I期 若干名

II期 若干名

詳細 P26-27

面接型入試I期

11/23(土・祝)

面接型入試II期

1/29(水)

大学入学共通 テストの結果のみで受験



大学入学
共通テストの
成績で受験

募集定員

I期 5%

II期 若干名

詳細 P28-29

大学入学共通テスト
利用型入試I期・II期

1/18(土)・19(日)

PICK UP 2

オープンキャンパス会場で



体験授業型入試

のエントリーができる

体験授業や個別相談で志望コースをじっくり選んだら、
会場で体験授業型入試のエントリーをしよう！

I期先行エントリー

体験入学オープンキャンパス

8/24(土)・25(日)

II期エントリー

入試対策オープンキャンパス

9/28(土)

アート・デザインを専門的に勉強した経験がない、
今の自分の実力に自信がない、そんな方にこそ受験してほしい入試



体験授業型入試

体験授業型入試って

どんな入試？

- あなたの熱意や挑戦する姿勢を評価

大学生になったつもりで授業を受ける入試です。
コースの特色や課題のねらいを掴んで、あなたの熱意や挑戦する姿勢を表現してください。



- 募集定員 60%

入学定員のうちの60%(I期：50%、II期：10%)を決める入試です。



- 未経験でもOK

入試ではありますが、行われるのは体験授業です。
先生のアドバイスを活かしながら課題に取り組むことができるため、未経験でも挑戦できます。



- 受験後に進学するコースを選べる

複数コースを併願した場合、進学するコースは受験(体験授業)後に選ぶことができます。授業の印象などを考慮して進学するコースを決めることができるため、進学コースのミスマッチを防ぐことができます。



入試の体験談や受験に関するQ&Aは「めざせ芸術大学!受験生応援サイト」にて公開しています。

※一部の限定コンテンツの閲覧にはメンバー登録が必要です。



自分にはセンスがない、大学の学びが自分に合うか分からない、そんな不安を抱えていませんか？
京都芸術大学には入学後の学びをイメージできる“体験授業を受ける”入試方式があります。

試験日(体験授業を受講)

I期 9/13(金)・14(土)・15(日)

II期 10/12(土)・13(日)

体験授業型入試の対策

“体験入学オープンキャンパス”で模擬体験をすることがおすすめです。

● 日程

4/28(日)

6/1(土)・2(日)

8/24(土)・25(日)

体験入学オープンキャンパスは事前予約制(定員制)となります。予約方法など詳細はオープンキャンパス特設サイトをご確認ください。



全コースがそれぞれ体験授業を開講

経験がなくても、先生たちが丁寧に指導してくれるので、安心してご参加ください。コースの学びを体験するだけでなく、体験授業型入試の模擬体験にもなります。

何度も受講することが対策につながる

体験授業は、入試までに段階を踏んで実施されるので何度も受講することが対策に直結します。5日間あるので、多くのコースを比較検討することもできます。

VOICE

体験授業型入試を受けた先輩たちの体験談

先生と一緒に考えてくれた！

体験授業型の入試は、お堅い試験という雰囲気は全くなく「来年はどんな1年生が入学するかな？」と先生方もワクワクされていた印象です。苦手意識のあった試験課題でしたが、作品がより良いものになるよう、先生と一緒に考えてくれるので、不安も吹き飛び楽しく描くことができました！

(情報デザイン学科 入学)

高校での経験を入試に活かしました

「高校生活を大切にすることが一番」。オープンキャンパスの入試対策講座を受けた時にいただいた言葉です。毎授業を大切にすること、当たり前のことですが、普段の生活を意識して過ごしました。体験授業型入試では、背伸びをせず“ありのままの自分”をだすということを意識し授業に取り組みました。今までの高校生活で読んできた本や、授業で学んできたことが、試験にも活かせたと思っています！

(こども芸術学科 入学)

オープンキャンパスに積極的に参加した！

積極的にオープンキャンパスのワークショップに参加して、そこで先生からたくさん講評してもらいました！その時もらったアドバイスを頭に入れて、試験で制作に挑みました。また、作品を時間内に作るにはけっこう大変なのは……と思い、事前に公表されている授業内容を確認して、シミュレーションを繰り返しました！

(文芸表現学科 入学)

体験授業型入試 I期・II期 (エントリー方式)

募集定員

I期 50% | II期 10%

入試のポイント

- ・エントリー(体験授業の受講)無料。
- ・出願時の検定料について、2024年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、2万円減免。
- ・志望するコースの授業を1日受講。複数コースの授業を受けて進学先を決めることができます。

I期

II期

1

インターネットエントリー登録

9月1日(日)～5日(木)

※8月24日(土)・25日(日)のオープンキャンパスで先行エントリーできます。
※最終日は23:59まで登録可

9月24日(火)～10月4日(金)

※9月28日(土)のオープンキャンパスでエントリーできます。
※最終日は23:59まで登録可

2

試験日(体験授業を受講)

A日程 |

9月13日(金)

B日程 |

9月14日(土)

C日程 |

9月15日(日)

予備日 |

9月16日(月・祝)

試験時間 | 各日9:30～16:30

※自然災害等の事情でA～C日程の入試が実施できない場合、予備日での入試を実施します。

A日程 |

10月12日(土)

B日程 |

10月13日(日)

試験時間 | 各日9:30～16:30

3

エントリー結果発表

9月24日(火)

インターネットエントリーサイトで発表

※10:00に出願可者の受験番号一覧を公表
(インターネットエントリーサイトへのログインが必要です)

10月18日(金)

インターネットエントリーサイトで発表

※10:00に出願可者の受験番号一覧を公表
(インターネットエントリーサイトへのログインが必要です)

4

出願手続

9月25日(水)～10月7日(月)

※消印有効。ただし海外から直接出願する場合は必着。

10月19日(土)～26日(土)

※消印有効。ただし海外から直接出願する場合は必着。

5

合格通知郵送

11月1日(金) 通知投函 ※WEB発表なし

6

入学手続

第一次手続締切日 |

11月14日(木)

第二次手続締切日 |

12月5日(木)

7

0年生プログラム(必修)

第1回 登学日 |

12月1日(日)

第2回 登学日 |

2025年2月8日(土)～16日(日)

※第2回登学日については、コースごとにいずれか1日を指定

会場

京都

評価の
ポイント

P10～21に記載

コース
併願

Ⅰ期 最大3コース* Ⅱ期 最大2コース*

同一コースで複数日程エントリーすることや、1日で複数コースをエントリーすることはできません。
 ※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。
 情報デザイン学科内でのコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。
 そのため、情報デザイン学科と他学科を受験する場合は、Ⅰ期は最大6コース、Ⅱ期は最大5コースの併願が可能です。
 ※複数コースを併願する場合、志望順位を決めてエントリーを行います。出願時に
 出願時に出願手続(進学)するコースは、体験授業の印象などを考慮して決めることが可能です。

1 インターネットエントリー登録

 手続
インターネット

 調査書
不要

 検定料
エントリー無料

① コース・日程を選ぶ

1日程につき1コースの体験授業(情報デザイン学科は4コース共通で体験授業を実施)となります。日程は自分で選択でき、1コースからエントリーできます。※本ページ上部「コース併願」欄を参照してください。

② エントリー

証明写真をデータで用意し、フォームよりエントリーしてください。詳細はP32

※締め切り間際はアクセスが集中しますので余裕を持って登録してください。エントリー期間終了後、エントリー内容の変更はできません。

③ 受験票をダウンロード

エントリー時に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。詳細はP35

※試験前日になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

2 試験日(体験授業を受講)

試験時間 | 各日9:30～16:30

試験当日の注意事項が記載されています。詳細はP36

体験授業型入試Ⅰ期においては、自然災害等の事情で通常日程の入試が実施できない場合、予備日での入試を実施します。

各コースの体験授業内容、評価ポイント、持参物はP10-21

3 エントリー結果発表

「出願可」の場合 ※「出願可」通知と出願に関する書類を大学より郵送します。

入学の意思がある方は、出願手続に進んでください。複数コースで「出願可」の場合は、体験授業の印象などを考慮し、出願手続(進学)するコースを決めてください。入学の意思がない場合は出願手続をしなくても、以降の入試に影響はありません。

「出願不可」の場合 ※出願不可であった場合、結果通知は送付しません。

今回の結果に関して、以降の入試に影響はありません。Ⅰ期の場合は「体験授業型入試Ⅱ期」以降、Ⅱ期の場合は「科目選択型入試Ⅰ期」以降の入試にチャレンジしてください。

4 出願手続 ※出願手続より専願となります

 手続
郵送 または 窓口持参

 調査書
必要

 検定料
35,000円 または 15,000円

大学より送付する出願書類を郵送または窓口持参にて提出してください。

出願手続後の辞退は受け付けません。これ以降、別途試験はありません。出願に必要な書類 P30

※2024年2月-9月実施のオープンキャンパスに参加した場合は検定料15,000円(詳細はP04)

5 合格通知郵送

出願手続を完了した方に合格通知と入学手続書類を送付します。

6 入学手続

締切日までに入学金納付金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP41

7 0年生プログラム(必修)

体験授業型入試で合格された方は、大学での創作・研究に向かうための、指定の登学日に大学での授業に参加するほか、大学での学修に必要な基礎を養うための課題に取り組みます。入学後にどのような授業が始まっていくのか期待を膨らませ、また入学までに何を意識して、何に取り組むべきかを授業の中で感じ取ってください。

※0年生プログラムへの取り組みが適切に行われない場合は、改善指導をします。指導をした上でも改善が見られない場合は、入学許可を取り消す場合があります。

※0年生プログラムの内容は変更となる場合があります。

体験授業型入試 Ⅰ期・Ⅱ期

授業内容・評価ポイント・持参物

美術工芸学科 日本画コース

Ⅰ期 描く楽しさを通して、 ものの見方を発見しよう！

デッサンをする際に一番大切なことは、ものをしっかり観察して描くことです。ものを見るということが、デッサンそのものなのです。描く時間よりも見る時間を増やしてみると、新たに見えてくるものがあります。ものの見方が変われば、デッサンもより楽しくなっていきます！この体験授業では、モチーフを見ることの奥深さを知り、そこで発見したことを描きながらデッサンの本当の面白さを体感します。

！評価ポイント

- 1) デッサンを通して、自分の考えを伝えることができるか
- 2) モチーフを捉える力があるか
- 3) 作品のねらい、意図が的確に表現できているか

体験授業と合わせて実施する選考

体験授業で制作した作品を見ながら個人面談を行います。

！評価ポイント

- 1) 質問に対して明確に述べることができるか
- 2) 作品のねらい、意図を述べることができるか
- 3) 向上心と探究心があるか

Ⅱ期 色彩から始める絵があってもいい！ 色を使って描こう！

大学が用意したモチーフと自分が学内で探して見つけたモチーフを組み合わせて、色を使って作品を制作します。モチーフを探す際には、色を意識して探してみましょう。そして、なぜこのモチーフを選んだのか、工夫したことは何かなど目的やねらいをしっかりと確認しながら描きましょう。水彩絵具や色鉛筆などの色材は大学で用意しますので、描画材を持っていない方や経験が浅い方も心配せずに挑戦してみてください。もちろん、自分のこだわりの画材を使っても構いません。みなさんの色の世界を見せてください！

！評価ポイント

- 1) 作品を通して、自分の考えを伝えることができるか
- 2) モチーフを捉える力があるか
- 3) 作品のねらい・意図が的確に表現できているか
- 4) 色彩表現が豊かであるか

体験授業と合わせて実施する選考

体験授業で制作した作品を見ながら個人面談を行います。

！評価ポイント

- 1) 質問に対して明確に述べることができるか
- 2) 作品のねらい、意図を述べることができるか
- 3) 向上心と探究心があるか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、デッサン用具一式（例：鉛筆[6H～6B]、カッターナイフ、ねり消しなど）

服装 汚れてもよい服装

※試験教室は土足厳禁のため、靴下や上履きを持参すること

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、着彩道具一式（水彩絵具、色鉛筆など）※着彩道具は大学でも準備します。

服装 汚れてもよい服装

※試験教室は土足厳禁のため、靴下や上履きを持参すること

Ⅰ期 挑戦したい描画材で自画像を描こう

自画像は多くの画家が取り組んできたモチーフです。鏡に写った自分と向き合い、改めて観察し、感じたことをどのようにすれば相手に伝えられるのか。下絵で構図を検討した後、油彩、アクリル、デッサンから自分の挑戦したい描画材を選択して描きます。制作ポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講評会では、今後の課題を考えるきっかけを得ることもできます。まずは失敗を恐れずに描いてみましょう。

評価ポイント

- 1) 観察をもとに描写できているか
- 2) 視点や表現に工夫ができているか
- 3) 主体的に制作に取り組んでいるか
- 4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント

- 1) 質問に対して適切に回答できるか
- 2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
- 3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)
 油彩の場合 | 油彩用具一式
 アクリルの場合 | アクリル用具一式
 鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合 | デッサン用具一式(鉛筆または木炭(併用可)、練り消しゴムなど)

以下の用具は大学で準備します。
 油彩・アクリル | キャンバス
 鉛筆デッサン | 画用紙、カルトン、目玉クリップ
 木炭デッサン | MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ
 ※エントリー時に支持体を選択してください。□キャンバス(油彩またはアクリル) □画用紙(鉛筆デッサン) □MBM木炭紙(木炭デッサン)

服装 汚れてもよい服装

Ⅱ期 挑戦したい描画材で静物を描こう

静物をモチーフに、観察しながら感じたこと・気付いたことを表現します。構図とかたち、トーンのパランスを探りながら気付きや感動を絵にしてみましょう。油彩、アクリル、デッサンから挑戦したい描画材を選択して描きます。トリミングや制作のポイントも授業で伝えますので、経験が浅くても心配ありません。講評会では、みなさん全員の表現の工夫や今後の課題を共有します。絵を描くこと、学ぶことの楽しさを体験しましょう。

評価ポイント

- 1) 観察をもとに描写できているか
- 2) 視点や表現に工夫ができているか
- 3) 主体的に制作に取り組んでいるか
- 4) 継続的に試行錯誤できているか

体験授業と合わせて実施する選考

制作中の作品を持ち寄りグループで面談を行います。

評価ポイント

- 1) 質問に対して適切に回答できるか
- 2) 制作中の作品について問題意識を持ち客観的に述べられるか
- 3) ひらかれた好奇心を持ち主体的に考えることができているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)
 油彩の場合 | 油彩用具一式
 アクリルの場合 | アクリル用具一式
 鉛筆デッサン・木炭デッサンの場合 | デッサン用具一式(鉛筆または木炭(併用可)、練り消しゴムなど)

以下の用具は大学で準備します。
 油彩・アクリル | キャンバス
 鉛筆デッサン | 画用紙、カルトン、目玉クリップ
 木炭デッサン | MBM木炭紙、下敷き用紙、カルトン、目玉クリップ
 ※エントリー時に支持体を選択してください。□キャンバス(油彩またはアクリル) □画用紙(鉛筆デッサン) □MBM木炭紙(木炭デッサン)

服装 汚れてもよい服装

Ⅰ期 編集による表現
- 部分と全体について考える

写真と映像表現に共通するのは、バラバラのイメージ同士が連なって関係する姿です。写真を1枚で見るのと複数の連なりで見るとは鑑賞者が受け取る印象が大きく異なります。普段どのように写真や映像を見ているのかを考えながら、イメージを連ねるグループワークを行い、受験生同士が対話を重ね、イメージの組み合わせの中で起こる意味や形の変化について考えます。最終的には一人ずつの制作も行い、1日の中での気づきを文章にし、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント

- 1) 複数のイメージを組み合わせて、新たな造形や意味を作り出すことができる
- 2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
- 3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
- 3) 大学での学びに対する意欲

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳

Ⅱ期 コラージュ
- 切断と接合について考える

私達は日々、写真や映像表現に接しています。何気なく接しているこれらのイメージは、場面の切り取りと繋がりによって表現されていることが殆どです。この授業では個々がコラージュ制作を行った後、グループに分かれて成果物を前に対話を重ねます。コラージュによるイメージの切断と接合がどのように起こり、写されたモチーフの意味や形の印象がどのように変化していくのか、他者とともに考え、自分以外の視点についても深く考える機会とします。最終的には1日の中での気づきを文章にし、今後の制作に繋がる力を養います。

評価ポイント

- 1) 複数のイメージを組み合わせて、新たな造形や意味を作り出すことができる
- 2) 他者と協働し、自分以外の視点について気づくことができる
- 3) 基本的な文章力があり、構造的な文章の組み立てができる

体験授業と合わせて実施する選考

人物や個性、本コースで学び成長することができるかを評価する面談を行います。自分自身の言葉で語ってください。

評価ポイント

- 1) 質問を的確に理解し、対話ができる力
- 2) 考えや思いを自分の言葉で伝える力
- 3) 大学での学びに対する意欲

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

持参物

Ⅰ期 色と形に触れる型友禪染め体験

染めや織りの技法を使ったさまざまな表現には、必ず素材や技法のこだわりが含まれています。今回はたくさんの方に色で布に模様を染める日本の代表的な染色法「型友禪」を体験します。実際に、型紙や刷毛など、染色ならではの道具を使い、型紙を繰り返し用いて作り出す色と模様の世界を楽しみましょう。友禪の歴史、素材、技法、染料についてのミニ講座も行います。入学後の授業がイメージできる内容です。

評価ポイント

- 1) 作業全体の工程や、技法における決まりごとを理解し作業できるか
- 2) 出来上がりをイメージして手を動かし、表現するための試行錯誤ができるか
- 3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに能動的に取り組むことができるか
- 4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント

- 1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
- 2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
- 3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

Ⅱ期 ハンドフックマシーンを使った小さなタペストリー制作

染めや織りの技法を使ったさまざまな表現には、必ず素材や技法のこだわりが含まれています。今回はハンドフックマシーンを使って小さなタペストリー制作を行います。各自でまずデザインを考え、大学で準備した羊毛を組み合わせ、それぞれの作品を作ってみましょう。知識や技術を身につけると同時に、柔軟に考える力も育てる本コースの学びを体験することができます。

評価ポイント

- 1) 作業全体の工程や、技法における決まりごとを理解し作業できるか
- 2) 出来上がりをイメージして手を動かし、表現するための試行錯誤ができるか
- 3) 技法において重要な道具の準備や作業場の片付けに能動的に取り組むことができるか
- 4) 全体を通して積極的に取り組み、適切な質疑応答ができるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員との面談を通して制作や自身について対話をします。

評価ポイント

- 1) 質問を理解し、自分の言葉で対話できるか
- 2) 大学での学びや制作に対し主体的な姿勢であるか
- 3) 制作プロセスへの興味、探究心があるか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(描画用鉛筆、消しゴムなど)、色鉛筆、直線定規

服装 汚れてもよい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

筆記用具(描画用鉛筆、消しゴムなど)、ハサミ、色鉛筆、30cm程度の直線定規

服装 動きやすい服装

Ⅰ期 あなたのイメージしたストーリーからオブジェクトを制作しよう!

例えばこの場所にこんなものがあって、こんなことが起こったら…など、さまざまな想像を膨らませたことはあるでしょうか。この授業では、いくつかのキーワードからイメージを上げ、オブジェクトを粘土と針金によって造形します。みなさん一人ひとりが想像する設定、背景、作品の世界観などを深く張り巡らせ、創造してみましょう。また、自分の想いを人へ伝えるためには、展示方法やプレゼンテーションにも工夫が必要です。この授業では、発想・構想する力、それを踏まえてかたちづくる力、他者へ伝える力を総合的に養います。

評価ポイント

- 1) 自分の考えのもとに前向きに取り組んでいるか
- 2) 視点や表現に工夫ができてきているか
- 3) 制作物を他者に伝える姿勢があるか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 2) 質問を理解し応答ができてきているか
- 3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

Ⅱ期 自分の顔を知らう! 彫塑によるレリーフ制作

自分の顔ってどんな顔? 見ているようで見ていない自分の顔を、レリーフ(半立体)で制作します。まずは写真や鏡に映った姿から観察し、平面だけでは理解できない特徴を知るために、自らの手で何度も自分の顔を触ってみます。写真や鏡からだけでは感じることのできない凸凹を粘土で再現してみましょう。顔の基本的な造形要素を学びながら、客観的な目線で制作に挑戦してみてください。きっと今まで気付かなかったことが発見できます。

評価ポイント

- 1) 授業内容を正しく理解し実行することができるか
- 2) 観察をもとに積極的に制作へ取り組んでいるか
- 3) 自身の考えをもとにディテールや粘土の肉付けがされているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 2) 質問を理解し応答ができてきているか
- 3) 大学での学びに対して積極的な姿勢を持っているか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、粘土ペラ一式、汚れても良いタオル、ペンチ(2本必要です)

服装 汚れてもよい、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、粘土ペラ一式、デッサン用筆記具(鉛筆各種H~3B程度)、汚れてもよいタオル

服装 汚れてもよい、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

I期 アートプロデュース入門①
はじめての企画づくり

芸術を社会に広め、社会を芸術の力で変えていくアートプロデュース。この授業では、「アートの力」を活用して社会の中に様々な意味や価値を生み出していく企画づくりを体験します。先生たちからアートプロデュースの考え方を学び、他の受験生とのグループワークを通してアートプロデュースを行っていくために必要な力を身につけます。個人的な楽しみにとどまらない「アートの力」を意識できるようになりましょう。

評価ポイント

- 1) 現代の社会で起きている事象の基礎知識
- 2) 根拠に基づき論理的に考える思考力
- 3) 思考やアイデアを的確に他者に伝える言語能力・表現力
- 4) 柔軟に他者と協働して問題に取り組むコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

グループワークを踏まえた個人レポートを作成します。

評価ポイント

- 1) 授業を通じて社会や芸術におけるアートプロデュースの必要性を認識する理解力
- 2) 授業の経験から自身の課題を含め、気づきや学びを取り出すことができる学習力

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

II期 アートプロデュース入門②
なんのための企画?

芸術を社会に広め、社会を芸術の力で変えていくアートプロデュース。この授業では、「アートの力」を活用して社会の中に様々な意味や価値を生み出していく企画づくりを体験します。先生たちからアートプロデュースの考え方を学び、他の受験生とのグループワークを通してアートプロデュースを行っていくために必要な力を身につけます。個人的な楽しみにとどまらない「アートの力」を意識できるようになりましょう。

評価ポイント

- 1) 現代の社会で起きている事象の基礎知識
- 2) 根拠に基づき論理的に考える思考力
- 3) 思考やアイデアを的確に他者に伝える言語能力・表現力
- 4) 柔軟に他者と協働して問題に取り組むコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

グループワークを踏まえた個人レポートを作成します。

評価ポイント

- 1) 授業を通じて社会や芸術におけるアートプロデュースの必要性を認識する理解力
- 2) 授業の経験から自身の課題を含め、気づきや学びを取り出すことができる学習力

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

体験授業内容

持参物

I期 京都は文化芸術の宝庫！実際に街を歩いて探そう

京都には、絵画や仏像、建築や庭園、祭礼行事など様々な文化財があります。これらは千年にわたる文化芸術の歴史を物語る貴重な存在であり、大切に維持され現代の私たちまで伝えられた大切な歴史遺産です。市内を歩いて廻ると実に様々な文化財と巡り合うことができます。体験授業では、文化財についてのミニ講義を受けた後、実際に市内を巡ります。街歩きをしながら文化財を見て、次世代に守り伝えるための歴史遺産についてディスカッションし、グループ発表を行います。

評価ポイント

- 1) ミニ講義の内容を理解しているか
- 2) 実際の文化財を見て、その特徴や魅力をつかむ観察力があるか
- 3) 観察し、感じ、考えたことについて、グループでコミュニケーションをとり協同して工夫し、表現する力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

ミニ講義を聞き文章でまとめるレポートと、グループ発表に関するレポートの2種類があります。

評価ポイント

- 1) ミニ講義レポートでは、講義の内容を理解し、的確な文章で要約することができるか
- 2) グループ発表レポートでは、実際の文化財を見学して観察したことを記述することができるか
- 3) グループディスカッションで果たした役割などを振り返り、今後自身が成長するための課題を見出すことができるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)
筆記用具として必ず鉛筆を持参してください。

服装 汚れても良い動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、熱中症対策のための帽子やタオル

II期 京都は文化芸術の宝庫！実際に寺院を訪れて探そう

京都には神社やお寺、博物館・美術館が多く所在しており、多くの文化財が守り伝えられています。体験授業では、まず歴史遺産や文化財保護についてミニ講義を受講します。その後、400年以上の歴史を持つお寺を実際に訪ね、絵画や仏像、建築や庭園など様々な文化財を見学します。そして、見学した文化財の特徴や価値について考え、グループディスカッションと発表、レポート作成を行います。

評価ポイント

- 1) ミニ講義の内容を理解しているか
- 2) 実際の文化財を見て、その特徴や魅力をつかむ観察力があるか
- 3) 観察し、感じ、考えたことについて、グループでコミュニケーションをとり協同して工夫し、表現する力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

ミニ講義を聞き文章でまとめるレポートと、グループ発表に関するレポートの2種類があります。

評価ポイント

- 1) ミニ講義レポートでは、講義の内容を理解し、的確な文章で要約することができるか
- 2) グループ発表レポートでは、実際の文化財を見学して観察したことを記述することができるか
- 3) グループディスカッションで果たした役割などを振り返り、今後自身が成長するための課題を見出すことができるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)
筆記用具として必ず鉛筆を持参してください。

服装 汚れても良い動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

体験授業内容

持参物・服装

Ⅰ期 世界を彩る魅力的なキャラクターをデザインしよう

何気ない生活の中には無数のキャラクターが隠れています。身の回りを注意深く観察し、感性に引っかかるモノコトからアイデアを発見し深く思考します。そこから多様なキャラクターを生み出し発信することで、私たちの世界を楽しく彩りましょう。この授業では、あなた独自の視点で世界を捉え、グループワークや教員からのアドバイスを通して伝えたいテーマを深め、世界の中で生き生きと躍動するキャラクターのビジュアルを創作していきます。

！ 評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。
また対話を通して、社会の様々なことに興味・関心を抱き自発的に思考する姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる過程をテキストでまとめ、そこからキャラクターのビジュアルに置き換えて表現します。

！ 評価ポイント

- 1) 課題に対し、独自の視点で捉えることができているか
- 2) テーマを的確に伝えるべきキャラクターが描けているか
- 3) 構図や色彩など、絵として美しく完成しているか

Ⅱ期 モチーフから発想して
オリジナルのキャラクターイラストを描こう

好きなアニメやゲームのキャラクターを模写したり二次創作することも楽しいですが、もっとみなさんのアイデア溢れるオリジナルのキャラクターをつくりたいと思いませんか？この授業では、キーワードから発想を広げて、魅力的なキャラクターを生み出します。そのキャラクターは、どんな世界で何を考え、何をしているのでしょうか？キャラクターを通してあなたが伝えたいことを、表現できる楽しさを体感しましょう！

！ 評価ポイント

自分だけのテーマを掘り下げる思考力、キャラクターデザインとしてビジュアル化する発想力と表現力を評価します。
また対話を通して、社会の様々なことに興味・関心を抱き自発的に思考する姿勢を評価します。

体験授業と合わせて実施する選考

テーマを掘り下げる過程をテキストでまとめ、そこからキャラクターのビジュアルに置き換えて表現します。

！ 評価ポイント

- 1) 課題に対し、独自の視点で捉えることができているか
- 2) テーマを的確に伝えるべきキャラクターが描けているか
- 3) 構図や色彩など、絵として美しく完成しているか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、着彩道具一式(画材は自由)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、着彩用具一式(画材は自由)

Ⅰ期 マンガなら描けるキミだけの世界！
好きから生まれる物語を創ろう

何気なく書いた落書きにも、みなさんの「好き」が隠れています。それってすごく価値があるものだと思いますか？プロのマンガ家である教員の指導のもと、みなさんの「好き」からグループワークを通して、オリジナルの物語を考え、その中のワンシーンをマンガもしくはイラストで表現してください。企画構成・プロットから、コマ割り・作画など本格的なマンガ制作の工程を体験してみましょう！

！ 評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのか、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出しているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。物語のワンシーンをマンガかイラストのいずれかで表現してもらいます。

！ 評価ポイント

- 1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくり出しているか
- 2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
- 3) 見る人を惹きつける絵が描けているか

Ⅱ期 いつでもどこでもできる！
毎日が楽しくなるネタ集めの実践法

通学途中や休日の街中など、マンガのネタとなるものは至るところに溢れています。観察の方法を覚えることで、見える世界が変わります。レクチャーを受けた後、マンガのネタを集めるために学内を散策し、スケッチを行います。そこで見たことや感じたことをグループで共有し、得られた気づきをマンガもしくはイラストで表現してください。独創的な発想も、まずは観察から。マンガのネタを掴む極意を会得しましょう！

！ 評価ポイント

まずはリラックスして、授業を楽しんでください！授業や面談を通して、みなさんが普段何を考えているのか、グループワークでの意見を上手に取り入れてアイデアを生み出しているかなど、みなさんの好奇心や成長への意欲を重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

オリジナルの物語を考えて「あらすじ」の文章を制作。物語のワンシーンをマンガかイラストのいずれかで表現してもらいます。

！ 評価ポイント

- 1) 講義やグループワークを通して自分らしい物語をつくり出しているか
- 2) 人に伝える工夫や気遣いができているか
- 3) 見る人を惹きつける絵が描けているか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、定規、使い慣れた画材(インク、マジック、サインペン、墨などモノトーンであれば自由)、腕時計
※上記以外の使用可能用具：カルトン、国語辞典、通信機能のない電子辞書
※使用不可の用具：スクリーントーン、カメラ、携帯電話

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、定規、使い慣れた画材(インク、マジック、サインペン、墨などモノトーンであれば自由)、腕時計
※上記以外の使用可能用具：カルトン、国語辞典、通信機能のない電子辞書
※使用不可の用具：スクリーントーン、カメラ、携帯電話

※情報デザイン学科は、4コース共通で体験授業を行います。情報デザイン学科内でのコース併願を希望する場合は、1日の授業で最大4コースまで併願可能です。

I期 カップラーメンをよりおいしくする
3分間の企画・デザイン

カップラーメンにお湯を注いで出来上がるまでの“3分間の待ち時間”をいかに楽しく充実した時間として過ごしてもらうのか。この授業では、これまでになかった視点や発想を持って、創造的な時間にするための企画またはデザインを考えます。待っている状況を想定し、映像やゲーム、パッケージやグラフィックなどの要素を活用し、その場で体験できる魅力的な企画やデザインにチャレンジしてみましょう！

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 授業を受ける姿勢
意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができているか
- 2) 発想・構想力
柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
- 3) 理解力
課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマやストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 企画
流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点でアイデアを企画に展開できているか
- 2) 構想
企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
- 3) 表現
視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的にプレゼンテーションできているか

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、使い慣れた描画用具一式
 ※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

服装 汚れてもよい服装

II期 睡眠をより豊かにする企画・デザイン

この授業では、睡眠に関連する要素を考察しながら、これまでになかった視点や発想を持って、快適な睡眠環境を提供するための企画またはデザインを考えます。睡眠環境の改善や質の向上を目的としたアプリやデバイス、映像、寝具などのアイテムやグッズのデザインなど、リラックス効果や新しい体験が得られるような魅力的な企画やデザインにチャレンジしてみましょう！

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 授業を受ける姿勢
意欲的かつ真摯に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができているか
- 2) 発想・構想力
柔軟な発想力と論理的な思考力でアイデアを展開できているか
- 3) 理解力
課題内容を理解した上で、企画やデザインのテーマやストーリーを見出すことができているか

体験授業と合わせて実施する選考

絵や図、文章でプレゼンテーションする企画・デザインのワークシートと自己PRシートに取り組んでもらいます。

評価ポイント

次の事項を含め総合的に評価します。

- 1) 企画
流行・社会の動きに興味を持ち、独創的な着眼点でアイデアを企画に展開できているか
- 2) 構想
企画や思考を具体的かつ論理的に構成させる力があるか
- 3) 表現
視覚化や文章化により、わかりやすく魅力的にプレゼンテーションできているか

筆記用具（鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど）、メモ帳、使い慣れた描画用具一式
 ※使用不可の用具：油絵具やスプレー塗料など匂いの強い画材、デジタル機器

服装 汚れてもよい服装

I期 暮らしを豊かにする
身近な生活の道具をデザインしてみよう！

ステーションナリーやキッチンウエア、IoT機器など身近な道具はどの様にデザインされているのでしょうか？プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法などさまざまなスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルのデザインを考えましょう。

評価ポイント

- 1) 表現・コミュニケーション力(行動力):
自分の考えを他者に伝えるよう自分なりに表現できているか
- 2) 発想・構想力:リサーチ結果や他者との
コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
- 3) 観察力(探究心):リサーチを幅広く行うと共に、
様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。制作したモデルのプレゼンテーションや面談、ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

II期 生活を豊かにする
身近な日用雑貨をデザインしてみよう！

我々の身の回りにある文房具や家電、キッチン用品、自動車などの製品はプロダクトデザイナーがデザインしています。プロのデザイナーの仕事や考え方を学んでみましょう！デザインには、アイデアの発想の方法、カタチの展開の方法などさまざまなスキルやメソッドを使います。今回の体験授業では、それらを学びながらグループでリサーチやアイデアの検討を行い、個人でスケッチやモデルの制作をしながら、あなたのオリジナルなデザインを考えましょう。

評価ポイント

- 1) 表現・コミュニケーション力(行動力):
自分の考えを他者に伝えるよう自分なりに表現できているか
- 2) 発想・構想力:リサーチ結果や他者との
コミュニケーションを通してアイデアを多く展開できているか
- 3) 観察力(探究心):リサーチを幅広く行うと共に、
様々な視点で物事を見て論理的に分析できているか

体験授業と合わせて実施する選考

プロセスを通してワークシートを順に制作して、最後にモデルと一緒にプレゼンテーションを行います。

評価ポイント

体験授業を通して、プロセスをワークシートにまとめていきます。制作したモデルのプレゼンテーションや面談、ワークシートを総合的に判断し評価を行います。

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、黒色の太めのマジックペンまたはサインペン、色鉛筆(12~24色程度)、鉛筆けずり、カッター、はさみ、のり、コンパス、三角定規(30cm程度)、定規(30cm程度、カッターでの切断時にも使用)

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、黒色の太めのマジックペンまたはサインペン、色鉛筆(12~24色程度)、鉛筆けずり、カッター、はさみ、のり、コンパス、三角定規(30cm程度)、定規(30cm程度、カッターでの切断時にも使用)

体験授業内容

持参物

I期 ○○のための「フェスティバル」の企画・デザイン

クロステックデザインコースの「クリエイティブ(企画やデザインの力で)」×「テクノロジー(新旧の技術を組み合わせる)」×「ビジネス(どのようにお金を生み出して持続可能な仕組みを作るか)」の3つの視点を体感していただく授業を実施します。「フェスティバル」をテーマに人を笑顔にする企画や誰かの課題の解決策を考えます。いつ、どこで、誰を対象に、どのような場面かを具体的に想像し、祭りの楽しみ方や伝え方にも焦点を当て、社会に多様な展開ができる企画やサービスの提案を考えましょう。

評価ポイント

- 1) 授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
- 2) 提案されている内容に、具体性があるか
- 3) 内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、企画を考え発表するグループワークを実施します。

評価ポイント

- 1) 他者(教員や他の受験生)の意見を真摯に受け止め、そこから発想を広げることができるか
- 2) 自分の経験や価値観だけではなく、情報を集め、多角的な視点をもとに考察することができるか
- 3) 拡散したアイデアを具体的な人や場面を想定して、提案としてまとめることができるか

II期 ○○のための「最後の晩餐」の企画・デザイン

クロステックデザインコースの「クリエイティブ(企画やデザインの力で)」×「テクノロジー(新旧の技術を組み合わせる)」×「ビジネス(どのようにお金を生み出して持続可能な仕組みを作るか)」の3つの視点を体感していただく授業を実施します。「食(フード)」をテーマに人を笑顔にする企画や誰かの課題の解決策を考えます。いつ、どこで、誰を対象に、どのような場面かを具体的に想像し、食の楽しみ方や伝え方にも焦点を当て、社会に多様な展開ができる企画やサービスの提案を考えましょう。

評価ポイント

- 1) 授業での学びや気づきを、体系的に整理し分析できているか
- 2) 提案されている内容に、具体性があるか
- 3) 内容の一部にでも、自身の独自の視点や考察が見られるか

体験授業と合わせて実施する選考

提示された課題に対して情報を集め、身のまわりを観察し、企画を考え発表するグループワークを実施します。

評価ポイント

- 1) 他者(教員や他の受験生)の意見を真摯に受け止め、そこから発想を広げることができるか
- 2) 自分の経験や価値観だけではなく、情報を集め、多角的な視点をもとに考察することができるか
- 3) 拡散したアイデアを具体的な人や場面を想定して、提案としてまとめることができるか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、メモ帳、スマートフォン(情報検索手段として使用)

筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど)、メモ帳、スマートフォン(情報検索手段として使用)

Ⅰ期 ソーシャルデザイン入門① わがまちミュージアム

社会へとつながる自分のデザインを発見するために、つくるだけではなく、レクチャーの後に、考察、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組みます。テーマとするわがまちの魅力を「自分の視点」で見出し、それをミュージアムという小さな空間作品として制作します。普通のこともデザインによって価値のあるものに変えていく考え方や、素敵な体験を空間にしていける手法を学び、まちの魅力をさらに上げていくことを目指します。また、発表を共有し「他者の共感」も得られるようになります。

評価ポイント

- 1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
- 2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
- 3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつることができるか
- 4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつることができるか
- 5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
- 2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
- 3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
- 4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

Ⅱ期 ソーシャルデザイン入門② わがまちショップ

社会をより良く変えていくためのデザインの授業です。地域には、人がまだ気づいていない魅力を発見し、うまく活かすためのデザインが必要です。レクチャーの後に、考察文、作品制作、発表というデザインの基本過程に取り組み、「自分の視点」でわがまちの魅力を発見し、それをアピールできるショップを空間作品として制作します。まちの特色を空間で伝えるためのストーリーづくりが、人を感動させ、身近な社会の変化を生む決め手となることを学びます。

評価ポイント

- 1) 授業に意欲的かつ誠実に取り組み、教員や他者と共感をもってコミュニケーションをとることができるか
- 2) レクチャーの内容を理解し、自分の考察を的確に論じることができるか
- 3) 課題内容を理解した上で、「自分の視点」からテーマやストーリーをつることができるか
- 4) テーマやストーリーを活かし、見る人にまちの魅力がより良く伝わる、工夫ある制作物をつることができるか
- 5) 制作物の魅力が他者に伝わるように発表することができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的に評価するために、制作物の評価のみではなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容に対する理解度と、その学修と成長へ向けた意欲・意志
- 2) 高等学校等での学習姿勢や成果、課外や自主的な活動などの行動力や主体性
- 3) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性
- 4) 自己主張だけでなく、客観的に説明できるコミュニケーション力

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、太めのマジックペン1色(色は自由)、カッターナイフ、はさみ、金尺(30cm)、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料(色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート、太めのマジックペン1色(色は自由)、カッターナイフ、はさみ、金尺(30cm)、のり、マスキングテープ、着彩道具一式

※上記以外の持参可能物：自分の制作で使いたい材料(色紙や紙粘土など500円まで。持参しなくても制作可能)

I期 ファッションデザイン入門
地域の特性を活かしたファッション①

さまざまな紙を使って、あなたの住んでいる地域を他者にPRするファッションアイテムを制作します。あなたが提案するファッションで、人が生きる環境にどんな変化を起こすことができるかを体験してみましょう。ここで大切なのは、完成した作品のクオリティではなく、その作品の制作に至るまでのプロセスと着眼点、そのモノは社会にどんな変化を起こすことができるのかということです。

評価ポイント

- 1) 制作の際に自分の考えたことだけでなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
- 2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
- 3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
- 4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的にみるために制作物だけでなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
- 2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
- 3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
- 4) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

II期 ファッションデザイン入門
地域の特性を活かしたファッション②

自分が毎日過ごす場所はいつも見ている分、何もなさそうに感じてしまいます。しかし、よく見直してみると必ず魅力になる部分があります。その魅力を起点として、さまざまな紙を素材としたファッションアイテムとして再構築してみましょう。アイデアによって地域社会がどのように変わっていくかを教員との対話から想像していきます。制作を通してファッション領域の幅広さを感じてください。

評価ポイント

- 1) 制作の際に自分の考えたことだけでなく、教員のアドバイスを柔軟に取り入れ、積み上げて考えることができるか
- 2) リサーチした内容から適切な地域課題を見つけ、制作にうまく活用できるか
- 3) 自分の考えを他者にも理解される形でプレゼンテーションできるか
- 4) 自分の考えを的確に文章にまとめることができるか

体験授業と合わせて実施する選考

人物を総合的にみるために制作物だけでなく、エントリーシート(自己紹介等)の記入と併せて面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 本学科の学修内容を理解し、志望動機を明確に説明できるか
- 2) これまでの学習姿勢や成果、行動力や主体性を持った活動などの説明ができるか
- 3) 本学科で学んだ先にある将来の目標を説明できるか
- 4) 社会や周囲のことを考えて発言し、他者と協力して活動できる社会性があるか

体験授業内容

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、カッターナイフ、はさみ、定規、のりやテープなど接着できるもの、ホッチキス、着彩道具一式、自分の身の回りにある紙(新聞紙、コピー紙、わら半紙、チラシ、紙袋、包装紙など。 ※紙は制作に使用しますので、自分の制作に必要なと思う紙を持参してください。)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、カッターナイフ、はさみ、定規、のりやテープなど接着できるもの、ホッチキス、着彩道具一式、自分の身の回りにある紙(新聞紙、コピー紙、わら半紙、チラシ、紙袋、包装紙など。 ※紙は制作に使用しますので、自分の制作に必要なと思う紙を持参してください。)

I期 あたりのカタチ

環境はさまざまな大きさ小ささから成り立っています。自然物を収集し、そのスケール(縮尺)や属性を自由に見立て、そのモノの周辺空間と人との関係を与えられた素材で表現します。難しく感じるかも知れませんが、さまざまな縮尺の人型模型も使いますので、自分がその人型の大きさになって想像すればさまざまなことを思い描くことができます。まちや都市の公園から、家具やギャラリー空間まで、スケールを横断するみなさんの想像力および三次元的な空間構成力に期待します。冒頭に行くスケールに関するレクチャーのミニレポートも、作成してもらいます。

評価ポイント

- 1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
- 2) 助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
- 3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
- 4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
- 2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
- 3) 制作時の面談では、助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

II期 ひかりのカタチ

環境に表情を与えるのは光です。今回の授業では、光がつくる線や面、光と影、反射や透過など、光の効果を魅せるカタチを制作します。与えられた素材で、自分なりの表現に挑戦してください。素材の特性や可能性を引き出すこと、またスケール感覚は設計の重要なポイントです。この光でシーンがどう良くなるか考えつつ、試行錯誤を楽しみながら制作してみてください。冒頭に行く光に関するレクチャーのミニレポートも、作成してもらいます。

評価ポイント

- 1) 与えられた条件を把握し、手を動かしながら考え、空間に展開しようとしているか
- 2) 助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか
- 3) 基礎的なコミュニケーション能力と表現力があるか
- 4) ミニレポートにおいて言語力、思考力、聴く力、まとめる力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

制作に関する面談と、みなさん自身に関する面談の2種類を実施します。

評価ポイント

- 1) 質問に対して的確に自身の考えをまとめて話すことができるか
- 2) コミュニケーションを双方向的に行うことができるか
- 3) 制作時の面談では、助言を受け入れ、柔軟に成果物に反映させようとしているか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具: 着彩用具一式(色鉛筆、マーカー、絵の具など)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダルは不可)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、はさみ、カッターナイフ ※使用不可の用具: 着彩用具一式(色鉛筆、マーカー、絵の具など)

I期 短篇映画製作体験『見つめる 耳をそばだてる』

会場内をグループに分かれて限なく歩き(ロケハン)、各自が発見した気になる何か(見つめたり、耳をそばだてたくなるもの)を決め、レクチャーを受けた機材を使って撮影し、一本の短編映画を製作します。完成後は、作品を上映し、感想や意見交換を行い、体験授業と他者との作業で感じたことや発見したことをレポートにまとめます。教員が総出でみなさんをサポートしますので、初めての方もぜひ挑戦してみてください。

評価ポイント

- 1) カメラやマイクを通して、世界を見つめたり、耳をそばだてたりする観察力
- 2) 世界でなにを良いと感じるのか、自分なりの思考力、発想・構想力を持っているか
- 3) 他者との作業に必要な相手への想像力、お互いの意思を伝え合うコミュニケーション能力

体験授業と合わせて実施する選考

映画製作体験から感じたこと、発見したことをレポートにまとめます。

評価ポイント

- 1) 体験授業を受けて感じたこと、考えたことを振り返ることができるか
- 2) 映画の基本である「観察すること」をどう捉えたか
- 3) 自分の中で論理を組み立て、文章として表現できるか

II期 映画を観よう
『映画のおもしろさを見つける。魅力を伝える』

映画を鑑賞し、分析します。「作品の面白さはどこにあるのか」「作品の魅力」「作品を構成する諸要素(お話、人物、カメラなど)」を言葉にして「どんな人に観てもらいたいか」「どう魅力を伝えるか」を意識してワークシート(「分析シート」と「伝えたい魅力」の2枚)にまとめます。映画作品の「面白かった部分」と「誰に見せたいか」「どう魅力を伝えるか」を、受験生同士で意見交換した上で、各々が発表します。

評価ポイント

- 1) 映画作品とその魅力を意欲的にとらえ鑑賞できる
感受性・ワークシートにより作品を捉える分析力
- 2) 人と意見交換できるコミュニケーション力、
発表に向かう、積極性や集中力
- 3) 映画作品の魅力を「どんな人たちに、どう伝えたいか」、
自らまとめ、伝えるときの発想力・構想力・表現力

体験授業と合わせて実施する選考

「分析シート」で「客観的な映画の構造」などを、「伝えたい魅力シート」で「自分が感じた面白さ」を、言葉にします。

評価ポイント

- 1) 「映画の構造」を客観的に捉え言葉にすることができるか
- 2) 自分が感じた主観的な「映画の面白さ」を
人に伝わる言葉にすることができるか

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、ノート、飲み物(炎天下に出ることも考えられます)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、帽子などの日除け(炎天下に出ることも考えられます)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、ノート

I期 俳優体験 脚本を読んで創造
『言葉から人間を作り上げよう』

はじめに、簡単なセリフが書かれた脚本(人物の背景、具体的な行動などには自由な解釈の余地がある)を読みます。そして、各々が人物のことを想像し、受験生同士で話し合い、演技を創造、発表します。発表後は、撮影したのを見て互いに意見交換します。その後、体験授業の経験について各々レポートにまとめ、提出します。(体験授業型入試はオーディションではなく授業です。今の演技力よりも、授業に取り組む意欲、その日の成長を評価します)

評価ポイント

- 1) セリフの背景を想像する力、演技を創造する力
- 2) 創造した人間を、声や表情、身体すべてを使って現出させる表現力
- 3) 人と話し合い、また協力し合い共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

一日の経験と学びをレポートにまとめます。

評価ポイント

脚本の読解と解釈、そして演技を創造する過程で得た学びを自分の言葉でまとめることができるか。

II期 俳優体験 脚本を読んで創造
『行動から人間を作り上げよう』

はじめに、簡単なト書き(人物の行動)が書かれた脚本(人物の背景、具体的なセリフなどには自由な解釈の余地がある)を読みます。そして、各々が人物のことを想像し、受験生同士で話し合い、演技を創造、発表します。それを撮影した映像を見て、互いに意見交換します。最後に2分間PRとして自己アピールの時間をとります。(体験授業型入試はオーディションではなく授業です。今の演技力よりも、授業に取り組む意欲、その日の成長を評価します)

評価ポイント

- 1) 行動の背景を想像する力、演技を創造する構想力
- 2) 創造した人間を、声や表情、身体すべてを使って現出させる表現力
- 3) 人と話し合い、また協力し合い共同作業ができるコミュニケーション力

体験授業と合わせて実施する選考

2分間の自己アピールは自由です。「いまのあなたの魅力」が伝わるように自己表現してください。

評価ポイント

あなたが「どんな魅力をもっている人」なのか、自分を見つめて人に伝える言葉や身体表現を評価します。

体験授業内容

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、飲み物(演技で身体を一日中動かすため)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、飲み物(演技で身体を一日中動かすため)

服装 動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

Ⅰ期 俳優の仕事を経験しよう！ーコミュニケーション編ー

午前中は、相手役とのコミュニケーションに焦点を当てた演技ワークショップを経験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは短い場面づくりに、ダンスチームはミュージカル・ナンバーを使ったダンス表現に、歌唱チームはミュージカル・ナンバーの歌唱表現に挑戦します。授業の最後は、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考えるワークショップを実施します。

【評価ポイント】

体験授業型入試はオーディションではありません、授業です。演技力よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を通して発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

【評価ポイント】

- 1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
- 2) 午前、午後のそれぞれの授業の中で気付いたり発見を具体的に記述できているか
- 3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳

【服装】動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

Ⅱ期 俳優の仕事を経験しようー感覚表現編ー

午前中は、感覚や感情表現に焦点を当てた演技ワークショップを経験します。午後は、各自の希望で「演技チーム」「ダンスチーム」「歌唱チーム」に分かれます。演技チームは短い場面づくりに、ダンスチームはミュージカル・ナンバーを使ったダンス表現に、歌唱チームはミュージカル・ナンバーの歌唱表現に挑戦します。一日の最後には、舞台デザインコースと合同で「舞台芸術とは？」を考えるワークショップを実施します。

【評価ポイント】

体験授業型入試はオーディションではありません、授業です。演技力よりも課題に向き合う姿勢や一日を通しての成長度、発見、気付きを重視します。

体験授業と合わせて実施する選考

一日を通して発見したこと、気付いたこと、学んだことをレポートにまとめます。

【評価ポイント】

- 1) 午前、午後のそれぞれの授業の中で、記憶や印象に残っている体験を具体的に記述できているか
- 2) 午前、午後のそれぞれの授業の中で気付いたり発見を具体的に記述できているか
- 3) 自分の考えを適切にわかりやすく記述できているか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

【服装】動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)

体験授業内容

持参物・服装

Ⅰ期 様々な素材を使って動く舞台装置を作ろう！

動く舞台装置があることをご存知ですか？舞台を彩る舞台装置の中には、動くことで劇空間を生み出すものも存在します。今回の授業では、モチーフを読み解き、動く舞台装置をみなさんと創作します。動くという要素を取り入れた舞台装置をデザインし、創作することを通して舞台ならではの協働を体験してみましょう。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

【評価ポイント】

- 1) モチーフを読み込み、自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
- 2) レクチャーを生かしてプランを修正する学ぶ力があるか
- 3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
- 4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
- 5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談(3~5分程度)を実施します。

【評価ポイント】

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備してきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、色鉛筆またはクレヨン(12色以上)、はさみ、のり、カッターナイフ(こちらでも用意しますが、ご自身で使いやすいものがあれば持参してください)

【服装】汚れてもよい動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる(髪を束ねるためのゴム持参)

Ⅱ期 照明機材や平台などの舞台備品を用いて劇空間づくりに挑戦！

はじめに、モチーフを読み解き、自由に舞台空間をイメージして舞台のプランを作成します。その後、実際の劇場空間を使用し、照明や舞台備品を工夫しながらイメージした世界を表現してみましょう。色々な機材に関する学びやグループワークでの発見を活かして「劇空間」づくりに挑戦することで、舞台ならではの協働を体験します。授業の最後には、演技・演出コースと合同で「舞台芸術とは何か」を考えるワークショップを実施します。

【評価ポイント】

- 1) モチーフを読み込み、自分のデザインを考えることにチャレンジできるか
- 2) レクチャーを生かしてプランを修正する学ぶ力があるか
- 3) 作業に臨む姿勢を通して、継続力、集中力があるか
- 4) 作品のプレゼンを通して、人に意見を発信する力があるか
- 5) グループワークを通して、他者とのコミュニケーション能力があるか

体験授業と合わせて実施する選考

教員と1対1の面談(3~5分程度)を実施します。

【評価ポイント】

人物像、独創性、積極性、熱意、これからの可能性を評価します。準備してきた回答ではなく、その場の質問を受けて、自分の言葉で何を語るかを重視します。

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)

【服装】汚れてもよい動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、スカート不可、髪の毛の長い人は束ねる(髪を束ねるためのゴム持参)

体験授業内容

持参物・服装

体験授業内容

I期 ことばの表現(読む、書く、聴く、話す)を体験して学ぼう①

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント

- 1) 読書会における「読解力」「要約力」
- 2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
- 3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科とのマッチング
- 2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
- 3) 書くこと、読むことへの興味関心

持参物

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、あなたが他者に紹介したいと思う「本」(1冊)
※使用不可の用具:辞書、電子書籍

II期 ことばの表現(読む、書く、聴く、話す)を体験して学ぼう②

次のような、ことばを使ったさまざまな表現を体験する授業です。その場で読んだ小説の内容を正確につかみ、より深い味わい方を模索する読書会。授業でやり方を丁寧に教わり、800字～1200字程度の文芸作品を執筆する演習。文芸と社会についての講義(聴講した内容をもとにレポートを書きます)。これらの体験を通して、ことばの世界に対する興味が広がり、ことばとの関わりがより豊かなものになることを目指します。

評価ポイント

- 1) 読書会における「読解力」「要約力」
- 2) 文芸作品の執筆における「発想力」「文章表現力」
- 3) 講義における「傾聴力」「思考力」

体験授業と合わせて実施する選考

教員2名との個別面談を行います。

評価ポイント

- 1) 本学科とのマッチング
- 2) 大学で学び続け、成長していくことができる姿勢
- 3) 書くこと、読むことへの興味関心

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、あなたが他者に紹介したいと思う「本」(1冊)
※使用不可の用具:辞書、電子書籍

体験授業内容

I期 こども目線で瓜生山を観察し、「物語」をつむぐ

こどもの可能性を引き出し、育むために「物語」はとても大切です。まずは緑豊かな瓜生山で、あなたのこども心呼び覚まし、自然をよく観察してみましょう。次に、こども目線で見つけた気づきをもとに、みんなで「物語」をつむいでいきます。最後に、こどもへ届ける方法を考えて、作品をカタチにしていきます。発想から構想へ、「こども」と「芸術」をキーワードとしたこども芸術学科での学びが体験できる授業です。

評価ポイント

- 1) 授業内容および出題の意図を理解できているか
- 2) 楽しみながら前向きに完成までやり遂げることができているか
- 3) 瓜生山で得た遊びのアイデアをもとに、こどもにとって魅力的な物語を構想しカタチにできているか
- 4) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、グループワークに積極的に参加しているか
- 5) 活動や制作物について他者に届くように伝えることができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 志望動機が具体的かつ明確であるか
- 2) こども芸術学科での学びに意欲があるか
- 3) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 4) 質問に適切に受け答えできるか

持参物・服装

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳やノート、自分の使い慣れた描画用具一式(色鉛筆、クレヨン、水彩絵具、アクリル絵具、筆、パレット、雑巾、はさみ、水分補給用の飲料)

服装 野外で行動しやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、熱中症対策のための帽子やタオル

II期 こどもがあそびを発見する「遊具」のデザイン

大人にとっては見慣れた平凡な場所でも、こどもはそこでワクワクしながら何かを発見し、次々と新しいあそびを創造していきます。あなたもこどもになったつもりで、瓜生山キャンパスを探検したり、テープや粘土など身近な造形素材に触れながら、あそびを発想してみましょう。そこで得たアイデアをもとに、こどもにとって魅力的な「遊具」を構想していきます。あそびを軸に発想から構想へ、こども芸術学科ならではのデザインプロセスが体験できる授業です。

評価ポイント

- 1) 授業内容および出題の意図を理解できているか
- 2) 楽しみながら前向きに完成までやり遂げることができているか
- 3) 瓜生山キャンパスで得た遊びのアイデアをもとに、こどもにとって魅力的な遊具を構想しカタチにできているか
- 4) 他者のアイデアや意見に耳を傾け、グループワークに積極的に参加しているか
- 5) 活動や制作物について他者に届くように伝えることができているか

体験授業と合わせて実施する選考

グループ面談を実施します。

評価ポイント

- 1) 志望動機が具体的かつ明確であるか
- 2) こども芸術学科での学びに意欲があるか
- 3) 自身の強みや将来の目標を自分の言葉で伝えることができるか
- 4) 質問に適切に受け答えできるか

筆記用具(鉛筆、消しゴム、シャープペンシルなど)、メモ帳、ノート、はさみ

服装 汚れてもよい服装、動きやすい服装、スニーカーなどの動きやすい靴(ヒールやサンダル不可)、野外で行動しやすい服装、帽子

筆記形式

科目選択型入試 I期・II期

募集定員

I期 10% | II期 10%

入試のポイント

- ・国語・英語、小論文、鉛筆デッサン一手/静物のうちの得意科目で受験可能。
- ・全国5会場にて実施。

会場

京都、東京、名古屋、岡山、福岡（会場地図はP39）

コース併願
(無料)

4コースまでの併願が可能。また、本学併設の京都芸術デザイン専門学校と併願が可能。

I期

II期

1

インターネット出願登録

10月30日(水)～11月5日(火)

※最終日は23:59まで登録可

12月23日(月)

～2025年1月6日(月)

※最終日は23:59まで登録可

2

出願書類提出

10月30日(水)～11月6日(水)

※消印有効。ただし海外から直接出願する場合は必着。

12月23日(月)

～2025年1月7日(火)

※消印有効。ただし海外から直接出願する場合は必着。

3

試験日

11月22日(金)

2025年1月30日(木)

4

合格発表

12月2日(月)

インターネット出願サイトで発表

※10:00に合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

2025年2月7日(金)

インターネット出願サイトで発表

※10:00に合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

5

入学手続

第一次手続締切日 |

12月16日(月)

第二次手続締切日 |

2025年1月9日(木)

2025年2月19日(水)

※一括納入のみ

試験科目	午前 「国語・英語」「鉛筆デッサン-手」「鉛筆デッサン-静物」	午後 「小論文」「鉛筆デッサン-手」「鉛筆デッサン-静物」
	午前と午後より1科目ずつ最大2科目受験することが可能です。1科目のみの受験も可能です。午前と午後で同一科目を受験することはできません。	
評価のポイント	「鉛筆デッサン-手/ 静物」	観察力・構成力・表現力
	「小論文」	読解力・論理的思考力・文章表現力
判定方法	「国語・英語」	基本的知識・文章読解力などの基礎学力
	<p>加えて、各科目共通している高等学校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力と提出書類(志望理由書・調査書など)を含め総合的に評価します。</p> <p>科目ごとに可否判定を行います。2科目受験した場合は、成績順位の高い科目で判定します。2～4コース併願し、複数コースで合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。</p>	

1 インターネット出願登録

手続	検定料
インターネット	35,000円

※コース併願無料/何科目受験しても検定料は変わりません

- ① コース・試験科目・試験会場を選ぶ
4コースまでの併願が可能。併願する場合は志望順位を決めてください。
- ② 出願登録
証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。詳細はP32
- ③ 検定料の納入
詳細はP33

2 出願書類提出

手続	調査書
郵送 または 窓口持参	必要

- ① 出願書類提出
入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。
窓口受付 | 月～土 9:00～17:30(日・祝休)、
年末年始期間の窓口受付は行なっていません。
詳細はP34
- ② 受験票をダウンロード
インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、試験日にお持ちください。試験当日の注意事項が記載されています。合格発表まで大切に保管してください。詳細はP35
※試験日3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

3 試験日

選択した会場で実施。会場地図はP39

4 合格発表

合格者へは合格通知と入学手続書類を大学より郵送します。
※不合格者への通知は送付しません。

5 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP41

国語・英語

試験内容	国語 現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く) 英語 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ 以上の範囲から出題。課題文を読み、関連の設問に解答(マークシート)。 ※出題にあたっては、新旧教育課程の共通の範囲から出題を行います。
時間	11:30~13:00(1時間30分)
配点	200点(国語100点/英語100点)
携行品 (使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、 消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙(マークシート)

ねらい

[国語] 専門的知識を問う問題ではなく、大学生レベルの学習で必要とされる語彙力と、文章の読解能力を問おうとする。語彙は漢字語や慣用句を問う形を取るが、単なる知識だけではなく、その運用能力を問う問題である。また読解能力を問うため、評論文・論説文・小説などを題材にして一定の長さの文章の内容理解について問題が出題される。
[英語] 長文読解をはじめ、語彙、熟語、構文問題が中心に出題される。長文は芸術、文化、美術、デザインをテーマとした内容が多く、入学後、専門領域で必要となる英語の運用能力が問われる。表やグラフ問題では英語情報を的確に理解する力が求められ、語順や文章の流れを問う問題ではコンテキスト(文脈)を正確に把握する力が求められる。

アドバイス

[国語] 難しい漢字の書き方を練習する必要はないが、漢字の勉強は大切。漢字の問題とは、文脈の中でどの漢字(漢字熟語)を使うか、という「語彙」の問題であることを意識して欲しい。また、読解能力の向上のために、文章中のキーワード・段落の組み立て・表現の流れなどに注意しながら現代文の問題(大学入学共通テストや私大文系向けのものが適切)を解いてみよう。日ごろから興味ある分野の読書に親しむ事も大切である。
[英語] 英語雑誌やインターネット情報の中で芸術、文化、美術、デザイン等、身近で興味深いと思える英文に少しでも多く触れておくことが大切である。中学・高校で学習した英単語、熟語の復習や暗記、苦手な文法項目の強化、またTOEIC等実用的な英語運用能力を高めるための練習問題を解いておくことが、入試に向けても効果的な勉強法である。

小論文

試験内容	与えられた文章について自分の考えを論述する (600~800字)。
時間	14:30~16:00(1時間30分)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、 消しゴム、鉛筆削り)
大学準備物	問題用紙、解答用紙、下書用紙(A4白紙)1枚

ねらい

以下の4点から評価をする。
・理解力(問題文の内容を把握しているか)
・表現力(日本語の表現・表記の妥当性、誤字・脱字の有無、文字数の過不足など)
・構成力(段落構成が適切であり、論旨が一貫しているか)
・内容(設問の解答として説得力があり、かつ主張に独自性・論理性・客観性があるか)
問題文は、芸術・人文・社会・自然などの分野から、評論文・論説文・エッセイなどを題材とする。

アドバイス

小論文試験では、問題文をじっくり読み、内容を理解することが重要である。従って第一に、日頃からさまざまな分野の多種多様な文章を読み、慣れておく必要がある。第二に、600字から800字で小論文を書く練習が必要である。物語や詩などの創作とは異なり、小論文では問題文に即しつつ、自分独自の考えや主張を論理的かつ客観的に述べなければならない。人に読まれることを想定して書き、身近な人(先生や保護者など)に添削してもらおう機会をもつことも大事である。

鉛筆デッサン— 静物

試験内容	与えられたモチーフを自由に配置し、B3画用紙に鉛筆でデッサンする。
時間	午前 10:00~13:00(3時間) 午後 14:30~17:30(3時間)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスクル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・ 課題の 公表内容	紙コップ(白色3個)と公表モチーフ1種を描く。 ※試験ごとに、紙コップ3個と公表モチーフ1種(P25)が出題されます。※モチーフの詳細や出題に関する質問にはお答えできません。
大学準備物	問題用紙、モチーフ、解答用紙(B3画用紙)、 下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、紙コップ3個と他1種のモチーフに設定し、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。モチーフの置き方と画面への入れ方が、共に空間を感じさせる構成になっているか、画面内のモチーフと机上や光と影の関係に矛盾がないかなどをよく観察しながら、素直に目の前にあるものを描写することを心がけて欲しい。

鉛筆デッサン— 手

試験内容	B3画用紙に手を鉛筆でデッサンする。
時間	午前 10:00~13:00(3時間) 午後 14:30~17:30(3時間)
配点	200点
携行品 (使用可能用具)	鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、カルトン、カルトン用クリップ、鉛筆削り用具、デスクル、はかり棒、擦筆、ティッシュペーパーおよびガーゼ
モチーフ・ 課題の 公表内容	自身の手を描く。
大学準備物	問題用紙、解答用紙(B3画用紙)、 下描用紙(A3白紙)1枚、下敷用紙(B2ケント紙)1枚

ねらい

デッサンはものの見方を理解し、目と手を連動させ空間を認識する上で大切である。全学科・コース共通のベーシックな課題として、本学では、自身の手をモチーフとして、造形の基礎となるデッサンの試験を実施する。手の全体感と細部の関係、そして、有機的な動勢や質感を捉え「手らしさ」を観察する力、手がつくる空間を把握し、表現する力をみる。

アドバイス

鉛筆でデッサンすることも、空間表現であることを意識して欲しい。手を画面の中でどのように構成しているか、指の動きや位置関係が不自然でないか、明暗の強弱が単調でないかなどを意識し、素直に観察して丁寧に描写することを心がけて欲しい。

○モチーフ公表の意図について

アドミッション・ポリシー(P51)の通り、科目選択型入試においては、「高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか」を入学選抜の方針と定めている。芸術大学の入学試験が、高校までの基礎的な学習を超えた過度の専門性を問われる特異なものであるのは望ましくなく、全国各地で学ぶ受験生のいずれもが等しく基礎的な学習を行った上で入学試験に臨むことができ、かつその学習継続の成果を評価したいという趣旨でモチーフの公表を行なっている。日々継続的に芸術を学ぶ上での基礎力としての観察力・構成力・表現力を磨いた上で入学試験に臨んで欲しい。



紙コップ(白色3個)

公表モチーフ



ペーパータオル



ニンジン



アボカド



ヘチマたわし



布(ストライプ)



ハンガー



ジャバラ筆洗



メスティン

面接形式

面接型入試 Ⅰ期・Ⅱ期 (オンライン)

募集定員

Ⅰ期 若干名

Ⅱ期 若干名

入試のポイント

5つの入試方式からあなたの得意なものを1つ選び、オンライン面接と指定提出物のみで受験可能。

入試方式

1. 課外活動型
2. 表現型(ポートフォリオ)
3. 表現型(デジタルクリエイション)
4. 英語外部試験利用型
5. 離島在住者対象型 ※出願には追加要件があります。詳細はP2

Ⅰ期

Ⅱ期

1

インターネット出願登録

10月30日(水)～11月5日(火)

※最終日は23:59まで登録可

12月23日(月)

～2025年1月6日(月)

※最終日は23:59まで登録可

2

出願書類提出

10月30日(水)～11月6日(水)

※消印有効。ただし以下の場合は必着。
・海外から直接出願する場合
・離島在住者対象型に出願する場合

12月23日(月)

～2025年1月7日(火)

※消印有効。ただし以下の場合は必着。
・海外から直接出願する場合
・離島在住者対象型に出願する場合

3

試験日

11月23日(土・祝)

2025年1月29日(水)

4

合格発表

12月2日(月)

インターネット出願サイトで発表

※10:00に合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

2025年2月7日(金)

インターネット出願サイトで発表

※10:00に合格者受験番号一覧を公表
(インターネット出願サイトへのログインが必要です)

5

入学手続

第一次手続締切日 |

12月16日(月)

第二次手続締切日 |

2025年1月9日(木)

2025年2月19日(水)

※一括納入のみ

実施方法	オンライン (Zoom)	コース併願 (無料)	同一学科内の2コースまで併願が可能。 ※学科をまたがる併願はできませんのでご注意ください。
試験内容	<p>入試方式ごとに指定提出物を提出。</p> <p>試験日当日は、Zoomを使用した20分程度のオンライン面接(5分程度の自己アピール後、質疑応答)を行います。自己アピール時にZoomの画面共有機能を使用することができます。実作品等を持ち込み、面接を受けることはできません。</p> <p>※オンライン面接の集合時間等の詳細は受験票発行時に案内します。</p>		
評価のポイント	<p>高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力や、芸術に限らず、部活動、ボランティア活動など情熱を持って打ち込んだものがあるか、また、本学で自分を成長させようとする意欲があるかを面接内容、出願書類(志望理由書含む)、調査書、指定提出物から総合的に評価します。</p>		
判定方法	2コース併願し、両コースとも合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。		

1 インターネット出願登録

手続	検定料
インターネット	35,000円(コース併願無料)

① コースを選ぶ

同一学科内の2コースまで併願が可能。併願する場合は志望順位を決めてください。※学科をまたがる併願はできませんのでご注意ください。

② 出願登録

証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録してください。詳細はP32

③ 検定料の納入

詳細はP33

2 出願書類提出

手続	調査書
郵送 または 窓口持参	必要

① 出願書類提出

入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。

窓口受付 | 月～土 9:00～17:30 (日・祝休)、年末年始期間の窓口受付は行なっていません。

詳細はP34

② 受験票をダウンロード

インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷してください。

試験当日の注意事項が記載されています。合格発表まで大切に保管してください。詳細はP35

※試験日3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

3 試験日

オンライン (Zoom) で面接を実施します。

4 合格発表

合格者へは合格通知と入学手続書類を大学より郵送します。
※不合格者への通知は送付しません。

5 入学手続

締切日までに入学手続時納入金を納め、入学手続を済ませてください。詳細はP41

入試方式ごとのアピールポイント

各入試方式ごとに指定提出物があります。詳細・規定は、P31を必ず確認してください。

1. 課外活動型

「総合的な探究の時間」の内容や成果、ボランティア活動の内容、部活動の成績や部内での役割などに加え、それらの活動を通して学んだこと、今後どう活かしていくか等をアピールしてください。

2. 表現型(ポートフォリオ)

高校までに制作した「デッサン」「色彩表現」「鉛筆写生」などを含めたポートフォリオを作成して制作意図や目的をアピールしてください。

3. 表現型(デジタルクリエイション)

SNSや動画コンテンツ等の制作活動を通して、作品や活動の意図や目的を、また集団制作の場合、自分がどのような役割を担ったのかをアピールしてください。合わせて、今後どのような活動をしていきたいのか等もアピールしてください。

4. 英語外部試験利用型

英語の言語力や表現力を通して、今後どのように活かしていきたいのかをアピールしてください。

5. 離島在住者対象型

「大学の学びをどのように離島・地域に活かすか」のかアピールしてください。

大学入学共通テスト利用型入試 Ⅰ期・Ⅱ期

募集定員

Ⅰ期 5%

Ⅱ期 若干名

	Ⅰ期	Ⅱ期	
1	<p>インターネット出願登録</p> <p>2025年 1月27日(月) ～ 2月2日(日) ※最終日は23:59まで登録可</p>	<p>インターネット出願登録</p> <p>2025年 2月13日(木) ～ 19日(水) ※最終日は23:59まで登録可</p>	<p>① コースを選ぶ</p> <p>4コースまでの併願が可能。併願する場合は志望順位を決めてください。</p> <p>② 出願登録</p> <p>証明写真をデータで用意し、フォームより出願登録をしてください。 詳細はP32</p> <p>③ 検定料の納入</p> <p>詳細はP33</p>
2	<p>出願書類提出</p> <p>2025年 1月27日(月) ～ 2月3日(月) ※消印有効。 ただし海外から直接出願する場合は必着。</p>	<p>出願書類提出</p> <p>2025年 2月13日(木) ～ 20日(木) 必着</p>	<p>① 出願書類提出</p> <p>入学願書をダウンロード・印刷のうえ、郵送または窓口持参にて提出してください。窓口受付 月～土 9:00～17:30(日・祝休)、年末年始期間の窓口受付は行なっておりません。 詳細はP34</p> <p>② 受験票をダウンロード</p> <p>インターネット出願登録の際に登録されたメールアドレスに受験票発行通知メールをお送りします。各自でダウンロード・印刷し、合格発表まで大切に保管してください。 詳細はP35</p>
3	<p>試験日</p> <p>2025年 1月18日(土)・19日(日) ※本学での実施はありません</p>		<p>本学独自の試験は行いません。 大学入学共通テストを受験してください。</p>
4	<p>合格発表</p> <p>2025年 2月17日(月) 通知投函 インターネット出願サイトで発表 ※10:00に合格者受験番号一覧を公表(インターネット出願サイトへのログインが必要です)</p>	<p>合格発表</p> <p>2025年 3月5日(水) 通知投函 インターネット出願サイトで発表 ※10:00に合格者受験番号一覧を公表(インターネット出願サイトへのログインが必要です)</p>	<p>合格通知と入学手続書類を大学より郵送します。不合格通知は送付いたしません。</p>
5	<p>入学手続</p> <p>手続締切日 2025年 2月25日(火) ※一括納入のみ</p>	<p>入学手続</p> <p>手続締切日 2025年 3月12日(水) ※一括納入のみ</p>	<p>締切日までに入学手続納入金を納め、入学手続を済ませてください。 詳細はP41</p>

入試のポイント	大学入学共通テストの結果のみで受験可能。	注意事項	令和7年度大学入学共通テスト受験者が対象です。
会場	大学入学共通テスト各会場	評価のポイント	この入学試験では、高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力や芸術を学ぶ上での基礎力としての基本的知識・文章読解力・論理的思考力が各教科において身につけているかを大学入学共通テストの成績、提出書類(志望理由書、調査書など)から総合的に評価します。
コース併願(無料)	4コースまでの併願が可能。		

本学が指定する大学入学共通テストの 教科・科目、判定方法

大学入学共通テストで実施される出題教科・科目のうち、以下の本学指定科目を2科目以上受験してください。本学指定科目を3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を採用します。なお、大学入学共通テスト受験時の科目選択の方法は「大学入学共通テスト受験案内」でご確認ください。旧教育課程履修者等に対する経過措置として、経過措置科目の利用を認めます。

【新学習指導要領に基づく出題範囲】

教科 ※1	本学指定科目	備考
国語	『国語』 「近代以降の文章」「古典(古文、漢文)」	『近代以降の文章(110点)』と『古典(古文、漢文)(90点)』に分け、それぞれ1科目とします。※2
地理歴史	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』	
公民		
数学	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』	
外国語	『英語』※3(リスニングを含む)	『英語』は1科目で2科目扱いとします。【リーディング(100点)】と【リスニング(100点)】の計200点満点です。
情報	『情報Ⅰ』	

【旧教育課程履修者の経過措置科目】

教科	経過措置科目
地理歴史	『旧世界史A』『旧世界史B』『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』
公民	
数学	『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』
情報	『旧情報』

※1 同一教科内の2科目選択も可とします。
 ※2 それぞれを100点換算します。
 ※3 外国語の「英語」を選択した場合、【リーディング】と【リスニング】の双方を解答してください。
 本学の大学入学共通テスト利用型入試へは英語だけでの受験でも出願可能です。

エントリー・出願に必要な書類

		体験授業型入試		科目選択型入試	面接型入試	共通テスト利用型入試
		エントリー ※受験者全員	出願 ※「出願可」通知を受けた方のみ			
手続	インターネットエントリー インターネット出願登録	○	—	○	○	○
	郵送または窓口持参による 出願書類の提出	—	○	○	○	○
検定料		無料	35,000円または15,000円*	35,000円	35,000円	15,000円
出願書類	証明写真 データ (出願サイト上でアップロード)	○	—	○	○	○
	写真	—	○1枚 入学願書に貼付	—	—	—
	入学願書	—	出願可通知に同封	○1枚 インターネット出願登録後、ダウンロードの上、印刷	○1枚	○1枚
	志望理由書	—	—	○1~2枚 インターネット出願登録後、ダウンロードの上、印刷	○1~2枚	○1~2枚
	調査書等	—	○1通	○1通	○1通	○1通
	面接型入試 指定提出物	—	—	—	○1種	—
	令和7年度大学入学共通テスト成績 請求票(私立大学・公私立短期大学用)	—	—	—	—	—

*2024年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、検定料15,000円

証明写真データについて

写真(3ヵ月以内に撮影したもの、半身脱帽、正面、背景なし、縦画面)をインターネット出願サイトにてアップロードしてください。

■ 写真をアップロードする際の注意事項

写真は、試験当日の本人確認をするために使用することを目的としています。アップロードの際、サイズ調整ができます。

- ・私服、制服どちらでも可
- ・スマートフォンでの撮影したものも可(インカメラでの撮影を推奨)
- ・アプリで顔等を加工したものは不可

調査書等について

各入学試験ごとに1通ずつ必要です。また、証明書類はすべて**原本を提出してください(コピー不可)**。

高等学校卒業(見込)者

- ・調査書(出身学校長が出願時より6ヵ月以内に発行し、厳封したもの)

※高等学校卒業後、5年以上が経過し、調査書の発行ができない場合は「卒業証明書」及び「成績証明書」を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者

- ・合格成績証明書(合格者) ・合格見込証明書(見込者)

※免除科目のある者は、取得機関(高校など)の成績証明書を送付してください。

※出願時点で高等学校卒業程度認定試験の合格が判明していない場合は、受験票のコピーもしくは科目合格証明書や合格見込証明書などを提出してください。

外国において学校教育における12年の課程を修了した者

P2エントリー資格/出願資格の②学歴(3)を満たすか確認してください。

以下2点(いずれも原本、発行1年以内)を提出してください。

- ・卒業(見込)証明書 ・成績証明書

「留学」以外の適切な在留資格を有する(見込み)者

出願書類の提出時に在留カードのコピーを提出してください。

次ページへ続く

面接型入試 入試方式ごとの指定提出物の詳細・規定 P27を併せて確認してください。

1. 課外活動型

指定提出物「活動報告書」

- ・書式は自由です。A4サイズで印刷し、最大5枚程度を目安に、出願書類提出時に願書と共に提出してください。
- ・ページごとに用紙右上に氏名を、用紙下にページ数を記入してください。
- ※ホッチキス留めはしないでください。

2. 表現型(ポートフォリオ)

指定提出物「ポートフォリオ」

- ・「ポートフォリオ」に含める内容は下記の表を参考にしてください。
- ・A4サイズ30ページ以内(表紙含む)とし、クリアファイル(固定式30ポケットクリアファイル等)に、ページごとにシートに入れて、出願書類提出時に願書と共に提出してください。ポートフォリオが入るようなマチ(幅)のある封筒をご用意ください。
- ・ファイル表紙には氏名を、それぞれの用紙裏面にはページ数を記入してください。
- ・複数コースに出願する場合も、提出するポートフォリオは1冊のみとなります。
- ・提出されたポートフォリオは、理由のいかんを問わず返却いたしません。
- ※製本・デコレートはしないでください。
- 面接時の資料としてPDFデータ化(スキャニング)しますので、必ず1枚ずつファイルした(1枚ずつ取り出せる)形式で提出してください。

含める内容	備考
「デッサン」	鉛筆デッサン、木炭デッサンなど
「色彩表現」	水彩画、油画など
「鉛筆写生」	静物、人物、風景、建築物、インテリアなどの写真の克明な鉛筆写生
「風景画・背景画」	—
「立体造形」	彫刻、陶磁器など
「イラストレーション」「キャラクター画」	オリジナルのテーマで制作したもの
「ビジュアル表現」	写真、ポスター、グラフィックなど
「ワークショップ、グループ制作などの資料」	グループワークの場合、自分がどのような役割でどのような活動をしたのかを示すこと
「論文、評論、脚本、創作文などの文字資料」	—

※上記は、ポートフォリオに含める内容として求める一例です。全ての内容を含める必要はありませんが、ポートフォリオを制作する際の参考にしてください。

3. 表現型(デジタルクリエイション)

指定提出物「活動報告書」

- ・SNS、動画コンテンツ等のWebサイトのURLと共に、作品や活動の意図や目的、制作期間、集団制作の場合、自分がどのような役割を担ったのかを明記してください。また、今後どのような活動をしていきたいのか等を記入してください。
- ・書式は自由です。A4サイズで印刷し、最大5枚程度を目安に、出願書類提出時に願書と共に提出してください。
- ・ページごとに、用紙右上に氏名を、用紙下にページ数を記入してください。※ホッチキス留めはしないでください。
- ・WebサイトのURLは、全体に公開されているものを記載してください。新たに登録が必要なサイトや閲覧に制限がかかるものは不可です。

4. 英語外部試験利用型

指定提出物「英語外部試験の成績表(コピー可)」

- ・直近3年以内に受験した英語外部試験(TOEFL、英検、IELTS、GTECなど)の成績表(成績証明書)をA4サイズにコピーし、出願書類提出時に願書と共に提出してください。※ホッチキス留めはしないでください。

5. 離島在住者対象型

指定提出物「小論文」

- ・「大学の学びをどのように離島・地域に活かすか」をテーマに市販の400字時詰め原稿用紙5枚以内で考えをまとめて記入し、出願書類提出時に願書と共に提出してください。
- ・原稿用紙の所定欄に、ページごとに氏名を記入してください。また欄外下にページ数を記入してください。
- ※原稿用紙がA4サイズでない場合は、A4サイズにコピーしたものを提出してください。
- ※ホッチキス留めはしないでください。

その他

出願書類	入願書類、志望理由書および調査書は各入学試験ごとに提出してください。出願書類に不備がある場合は受理できません。また一旦受理した出願書類および検定料は、理由の如何に関わらず返還いたしません。
変更	インターネット出願(エントリー)サイトの登録完了後の志望順位、志望コース、受験科目、試験会場など、 試験に関わる内容の追加や変更は認めません ので、提出前によく確認してください。住所・電話番号等の個人情報に変更が生じた場合は、必ずアドミッション・オフィスに連絡してください。
旧字体	氏名、住所等に旧字体が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
個人情報	本学園では個人情報保護の重要性を認識し、個人情報に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。

エントリー・出願の手続きの流れ

体験 授業型 入試	科目 選択型 入試	面接型 入試	共通テスト 利用型 入試	
○	○	○	○	<p>1. 証明写真データを用意する</p> <p>P33 <4. エントリー / 出願登録を行う>の際に証明写真をアップロードしますので、事前にご用意ください。証明写真データについてP30</p>
○	○	○	○	<p>2. 大学WEBサイト「入学試験一覧」にアクセスする</p> <p>インターネットに接続されたパソコンまたはスマートフォンを用意し、大学WEBサイト「入学試験一覧」にアクセスしてください。</p> <p style="text-align: right;">  https://www.kyoto-art.ac.jp/admission/list/ </p>
○	○	○	○	<p>3. インターネット出願サイトのアカウントを作成しログインする</p> <p>大学WEBサイト「入試情報」にある各入試ごとの「インターネットエントリー」もしくは「インターネット出願」ページより「インターネット出願サイト<Post@net>」にアクセスしてください。</p> <p>① アカウント作成</p> <p>インターネット出願サイト<Post@net>の「アカウント作成」をクリックし、「利用規約」「個人情報の取り扱いについて」を確認・同意したのち、メールアドレスとパスワードを登録してください。登録したメールアドレス宛に仮登録メールが送信されますので、60分以内にメール本文のリンクをクリックし、の登録を完了させてください。登録したメールアドレスは、ログイン時およびログイン後の各操作に利用します。</p> <p>② ログイン</p> <p>登録したメールアドレス宛に認証コードが送信されますので、入力しログインしてください。</p> <p>注意 登録したメールアドレス宛にて認証コード(メール)が届かない場合、ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。ドメイン(@postanet.jp)を受信指定してください。ドメインを受信指定しても、メールが届かない場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。</p> <p>③ お気に入り登録</p> <div style="background-color: #E74C3C; color: white; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>注 「学校一覧」から「京都芸術大学」を検索し、お気に入り登録してください。お気に入り登録をしないと結果通知等のメッセージが受信できないため必ず登録してください。</p> </div> <p>④ 出願登録</p> <p>③が完了後、「出願」をクリックして出願ページを開き、「出願登録」をクリックしてください。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>インターネット出願サイト<Post@net> ※画像は2024年度入試のもののため、デザイン等に変更があることがあります。</p> </div>

体験 授業型 入試	科目 選択型 入試	面接型 入試	共通テスト 利用型 入試
○	○	○	○

4. エントリー / 出願を行う

- ① 入試区分の選択
- ② 志望コース・試験会場・受験科目の選択
- ③ 志願者情報(氏名・住所等)の入力

注
意

※ 志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容(特に生年月日・電話番号・住所)に誤りがないか、十分に確認してください。特に住所の番地抜けが多く見受けられます。
 ※ 登録完了後は出願(エントリー)内容の変更はできませんので完了する前に必ず確認してください。
 ※ 登録完了後に住所等の個人情報に変更がある場合は、アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

- ④ エントリー / 出願登録番号の確認
出願登録番号確認画面には、出願登録番号(8桁)が表示されます。

5. 検定料を納入する

体験授業型入試 | 納入不要
 科目選択型入試・面接型入試 | 35,000円
 大学入学共通テスト利用型入試 | 15,000円

- ① 支払い方法の選択

・クレジットカード

支払い金額を確認後、カード情報を入力し、決済を完了させてください。決済完了後に入金完了メールが通知されます。

【利用可能なクレジットカード】



・コンビニ・ペイジー

「支払い確認番号確認画面」に支払い時に必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

※日本国外から支払う場合「コンビニ」「ペイジー」は利用できません。

- ② 検定料の納入

インターネット出願登録をした日の翌日 23:59 まで(インターネット出願登録期間最終日に登録した場合は翌日 16:00 まで)に、検定料をお支払いください。支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料支払いができなくなります。

※一旦振り込まれた(決済された)検定料は、願書の提出が無かった場合などを含め理由のいかんにかかわらず返金いたしません。

科目選択型入試・面接型入試・大学入学共通テスト利用型入試

インターネット出願および検定料の納付だけでは出願完了となりません。

必ず期間内に<6. 出願書類の印刷・提出>を行ってください。

次ページへ続く

体験 授業型 入試	科目 選択型 入試	面接型 入試	共通テスト 利用型 入試
-----------------	-----------------	-----------	--------------------

6. 出願書類の印刷・提出

出願書類 ※P30を必ず確認のこと

- ・入学願書
- ・志望理由書
- ・調査書等
- ・面接型入試 指定提出物 1種(面接型入試のみ)
- ・大学入学共通テスト成績請求票(大学入学共通テスト利用型入試のみ)

① 入学願書・志望理由書・封筒貼付用宛名シートを印刷する

検定料の支払い後に届く「入金確認メール」に記載されているURL、もしくは、インターネット出願サイトへログインし、メニューの「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」を選択し、入学願書・志望理由書・封筒貼付用宛名シートをダウンロード・印刷してください。

※ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。



インターネット出願サイト <Post@net>

② 志望理由書を記入する

ダウンロード・印刷した志望理由書に、本学への志望理由や入学後にやりたいことなどを手書きで記入してください。

※所定のフォーマット内に収まるように記入してください。

※フォーマットに字数の制限はありませんが、必ず欄内にまとめてください。

※志望コース数によって枚数が異なります(1～2枚)。

※所定のフォーマット以外の志望理由書は受理いたしません。

※鉛筆書き不可



志望理由書

③ 郵送または窓口持参による提出

ダウンロード・印刷した封筒貼付用宛名シートを市販の角2サイズの封筒に貼り、出願書類一式を入れ、簡易書留・速達で郵送または、窓口持参で提出してください。

郵送の場合

送付先 | 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号
京都芸術大学 アドミッション・オフィス

持参の場合

アドミッション・オフィス 窓口受付時間 | 月～土 9:00～17:30 (日・祝休)

※年末年始期間の窓口受付は行っていません。

※持参の場合も市販の封筒に封筒貼付用宛名シートを貼付してください。



科目選択型入試・面接型入試・大学入学共通テスト利用型入試

すべての手続きを期間内に完了することによって出願が正式に受理され、受験票が発行されます。出願登録・検定料納入・出願書類提出のいずれかが行われなかった場合は、出願を受理できません。

× ○ ○ ○

体験 授業型 入試	科目 選択型 入試	面接型 入試	共通テスト 利用型 入試
○	○	○	○
○	○	○	○
○	×	×	×

7. 受験票のダウンロード・印刷

体験授業型入試は、インターネットエントリー期間終了後、大学が登録内容を確認したのちに「受験票」を発行します。エントリー登録後、数日程度かかります。



インターネット出願サイト <Post@net>

科目選択型入試・面接型入試・大学入学共通テスト利用型入試は、郵送された出願書類を確認したのちに、「受験票」を発行します。出願期間終了後、数日程度かかります。

エントリー / 出願時に登録されたメールアドレスへ受験票発行通知メールを送りますので、各自でダウンロード、印刷し、受験時にお持ちください。受験票のダウンロードはインターネット出願サイトの「出願登録 / 出願確認」ページから行ってください。「受験票」は合否発表まで大切に保管してください。

※体験授業型入試は試験日の前日、科目選択型入試・面接型入試・大学入学共通テスト利用型入試は試験日の3日前になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

8. 受験

9. 出願手続 ※エントリー(出願可否)結果発表で「出願可」通知を受けた方に限る

体験授業型入試

エントリー(出願可否)結果発表で「出願可」通知を受けた方で、出願される方のみ、受験(体験授業受講)後に出願手続が必要となります。出願手続の詳細は、「出願可」通知に同封する出願手続要項を確認してください。なお、出願は本学への入学を前提とした「専願」になります。

検定料

35,000円または15,000円

*2024年2月～9月のオープンキャンパスに参加した方は、検定料15,000円

出願書類 ※P30を必ず確認のこと

- ・入学願書：出願可通知に同封したもの
- ・調査書等
- ・証明写真：出願可通知に同封の入学願書に貼付
- ・検定料：出願可通知に同封の払込取扱票を使用して振込

入学試験共通の注意事項

受験上の注意

受験票	受験票は各自ダウンロードのうえ、印刷し持参してください。 試験の3日前(体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期は試験日前日)になっても受験票発行通知メールが届かない場合は、アドミッション・オフィスにお問い合わせください。受験票は必ず携行し、試験時間中は所定の場所に提示してください。試験当日に忘れた場合は、受付に申し出て仮受験票の発行を受けてください。
試験会場	試験会場へのアクセスは、P39の案内図を参照してください。試験教室、その他の必要事項は試験当日に掲示等にてご案内します。
交通手段	入試当日は、公共交通機関をご利用ください。京都駅から本学へ向かうシャトルバス等の運行はありません。本学に駐車場はありません。大学前の道路は京都市バスが運行する道路でバス停もあるため、送迎のための駐車はご遠慮ください。また、送迎目的による周辺の商業施設への駐車は固く禁じます。
持参物	本募集要項に記載の試験科目ごとの携行品(使用可能用具)を持参してください。忘れた場合でも貸出は行いません。
遅刻	試験開始時刻より20分以上遅刻の場合は、試験放棄(欠席)とみなし受験できません。20分未満の遅刻は受験を認めますが、試験時間の延長は行いません(気象災害や公共交通機関による遅れであっても、試験時間の延長は行いません)。ただし、代替の交通機関がない状況で、特定の公共交通機関が20分以上運行を見合わせ(乗っている電車が止まる、駅で足止めになる等)し、その結果、試験会場到着が20分以上遅れる場合は受験を認める場合があります。直ちにアドミッション・オフィスへ電話連絡し、「遅延証明書」をお持ちください(事後提出も可)。なお、バス・タクシー・自家用車の事故・渋滞による遅れは対象となりません。
入構禁止日時	試験の前日は会場内への立ち入りを禁止する時間帯があります。
入構時間	試験当日の入構は、 京都会場は8:30、その他の会場は9:00からです。試験開始20分前には、着席してください。 面接型入試以外の入試で、集合時間の指定はありません。各自でご判断ください。
服装	服装は自由です。上履きも必要ありません。合否判定には一切関係ありません。ただし、体験授業型入試においては、服装を指定しているコースがあります。
携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等	試験時間中は電源を切り、かばん等にしまってください。身につけていた場合は不正行為とみなします。万が一、試験時間中に携帯電話が作動した場合は、監督者が試験会場外へ持ち出し、試験終了まで保管します。ただし、体験授業型入試において、スマートフォンを使用するコースはこの限りではありません。
時計	試験会場に時計はありませんので、必ず時計を持参してください。携帯電話類を時計代わりに使用することは認めません。
不正行為	受験に際し、不正行為、周囲に迷惑のかかる行為等があった場合は、受験の停止を命じます。
付添者	受験者の付添者の入構はできません。付添が必要な場合は、事前にアドミッション・オフィスに連絡をしてください。
個人成績開示	本学では、科目選択型入試において、受験生全員に対して個人成績を開示します。
入試作品	入試作品(ポートフォリオを除く)を本学の入試資料に掲載したり、公に展示する場合があります。あらかじめご了承ください。
学外での配布物	試験当日、学外(敷地外)で配られる案内やビラは、本学とは一切関係がありません。また、本学周辺や駅周辺において有料で可否通知を行う業者がいる場合がありますが、本学とは一切関係がありません。
その他	自然災害などの不測の事態により、緊急対応措置を行う場合があります。

入学試験における感染症の対応について

試験当日、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症に罹患し治療していない場合は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験はできません。病状毎の治療期間等は、医療機関の指示に従ってください。なお、試験当日に欠席をした場合は、理由の如何を問わず追試験の実施や検定料の返金はいたしません。

障がいのある方の受験について

障がいがあり、受験および就学に際して特別な配慮が必要な場合は、エントリー・出願前に必ずアドミッション・オフィスに連絡し、面談を受けてください。面談では、受験上の配慮および修学上の支援についての対話をします。

- 面談の申し込みは、「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請フォーム」より、各入学試験実施日の1か月前までに行ってください。フォーム送信後、アドミッション・オフィスから電話連絡をいたします。5日以内に連絡がない場合はお電話ください。
- 面談の内容により「診断書」の提出を求める場合があります。(主治医の所見等の提出を求める場合があります。)
- 受験において特別配慮が可能となるのは京都会場のみです。

【お問合せ先】

アドミッション・オフィス

☎ 0120-591-200 ✉ nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp

【受験上及び修学上の配慮に関する事前相談】

<https://www.kyoto-art.ac.jp/admission/disabilities/>



Q & A よくある質問

体験授業型入試

Q. 受験する日程、志望順位はどのように決まりますか？

A. インターネットエントリーを行う際、ご自身で決めてもらいます。日程によつての定員は設けておりませんので、エントリー初日に慌てて登録する必要はありません。よく考えてからエントリーを行うようにしてください。

Q. 3日程(Ⅱ期は2日程)すべて同じコースを選択することはできますか？

A. できません。複数受験する場合は、全て異なるコースを選択してください。
情報デザイン学科は4コース共通で体験授業を行います。詳細はP8～「体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期」をご確認ください。

Q. デッサンや美術の勉強をしたことがありません。エントリーは可能でしょうか。

A. 可能です。授業形式の入学試験では、体験授業に取り組む姿勢や意欲などから受験生の能力や適性を総合的に評価します。よつて、芸術の知識や経験を求めているものではありません。ただし、入学試験に出題されるかに関わらずデッサンを学ぶことをお勧めします。デッサンにおいて養われる基礎造形力(観察力や表現力、描写力、空間構成力)は、どのコースに入学されても大変意義があるからです。

Q. 合格者の作品を見ることはできますか？

A. 体験授業型入試は成果物(作品など)だけの評価で合否が決まる試験ではありませんので、合格者の作品は公表していません。

Q. 他大学の受験も考えています。体験授業型入試は他大学との併願は可能ですか？

A. 体験授業を受け、結果通知を受け取るまでは可能です。
ただし、体験授業終了後、「出願可」通知を受けて出願された後は、「専願」となり、他大学との併願はできません。体験授業を通して「本学へ入学を希望するかどうか」をしっかりと見極めてください。

Q. 体験授業型入試では教員との面談がありますか？

A. コースによって異なります。「体験授業の内容」のポイントとして面談の実施を公開しているコースもあるため、P10～「体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期 授業内容・評価ポイント・持参物」を参考にしてください。「コースで大切にしている考え」や「入学後そのコースで何がしたいのか」などを調べ考えることになるため、面談があると思つて対策を行うことをお勧めします。加えて、体験授業を受けるときの授業理解も向上させます。

Q. 入試対策方法はどのようなものがありますか？

A. オープンキャンパスへの参加をお勧めします。大学の学びに直接触れられるだけでなく、教員・学生との対話からたくさんのヒントが得られるはずでつ。また、入試のポイント動画を受験生応援サイト内で公開している他、各コースの体験授業における評価ポイントをこちらで公開していますので参考にしてください。

「めざせ芸術大学！
受験生応援サイト」



Q. 0年生プログラム(入学前教育)とはどういったものですか？

A. 大学での創作・研究に向かうための「モノの見方や考え方」を身につけるためのプログラムです。登学日では、入学予定の学科・コースでの授業を行います。入学後にどのような授業が始まっていくのかに期待を膨らませ、また入学までに何を意識して、何に取り組むべきかを授業の中で感じ取ってください。

Q & A よくある質問

エントリー・出願

Q. エントリー・出願登録内容を確認することはできますか。

A. インターネット出願サイトの「出願登録 / 出願確認」ページにアクセスし、確認してください。

Q. メールが届きません。

A. ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。ドメイン(@postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時、検定料支払い完了時、受験票発行時に登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。ドメインを受信指定しても、メールが届かない場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

Q. 入力内容の間違いに気づきました。どうすればいいですか。

A. 体験授業型入試

アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

なお、インターネット出願(エントリー)登録完了後の登録内容の変更はできません。

その他の入試

【検定料を納付していない場合】

P33<4. エントリー / 出願を行う>からやり直してください。古い登録を消去することはできませんので、使用せずにそのままにしてください。

【検定料を納付した場合】

検定料を納入し出願登録が完了した場合、志望コース、志望順位を含む登録内容の修正はできません。検定料支払い後の個人情報(住所・氏名・電話番号等)に誤りや変更が生じた場合は、アドミッション・オフィス(0120-591-200)までお問い合わせください。

入試全般

Q. 入試を受けるときの服装は私服か制服どちらでしょうか？

A. 私服でも制服でもかまいません。体験授業型入試を受験する場合、コースによっては服装の指示があるのでそれに従ってください。

Q. 現役(卒業見込み者)と既卒による有利不利はありますか？

A. 年齢による有利不利はありません。

Q. オープンキャンパスに参加した数は合否に影響しますか？

A. 参加回数が合格に直接影響することはありません。オープンキャンパスは、自身の進路に後悔しないようしっかりと大学を見極めるためのものです。ただオープンキャンパスなどに参加すると、試験(体験授業型入試)当日の雰囲気はわかるでしょう。課題の傾向や、教員からそのコースが大切にしている考えなども具体的に聞くことができます。

Q. 複数の入学試験を受験することはできますか？

A. いずれの入学試験でも受験することが可能です。

Q. 同じコースへの受験を複数回チャレンジすると、合格率は変わりますか？

A. 受験履歴を考慮した合否判定ではありませんので影響はありません。

Q. エントリー・出願の条件として評定平均値の基準はありますか？

A. 評定平均値の基準はありません。

試験会場



京都会場

〈京都 瓜生山キャンパス〉

■JR「京都駅」より

A1のりば・市バス5系統

岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約50分)

■地下鉄「北大路駅」(北大路バスターミナル)より

赤Bのりば・市バス204系統循環

銀閣寺方面「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約15分)
※地下鉄北大路駅へは地下鉄京都駅より約15分

■京阪「出町柳駅」より

①市バス上終町3系統

上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行「上終町・瓜生山 学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約15分)※バス停は今出川通沿いです

②叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山・京都芸術大学駅下車・徒歩約10分

■阪急「京都河原町駅」より

①河原町Hのりば・市バス5系統

岩倉行「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約30分)

②河原町Gのりば・市バス上終町3系統

上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前行「上終町・瓜生山 学園 京都芸術大学前」下車(所要時間約30分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

※本学には駐車場がありません。車・バイクでの来学はご遠慮ください。※本学の最寄りのバス停は「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」です。

岡山会場 (科目選択型入試Ⅰ期)

〈岡山シティホテル桑田町別館〉



所在地
岡山市北区桑田町2-21
アクセス
JR「岡山駅」東口より
徒歩約7分

岡山会場 (科目選択型入試Ⅱ期)

〈岡山コンベンションセンター〉



所在地
岡山県岡山市北区駅元町14-1
アクセス
JR岡山駅中央改札口より
徒歩約3分

※岡山会場は、科目選択型入試Ⅰ期と科目選択型入試Ⅱ期で会場が異なります。ご注意ください。

東京会場

〈京都芸術大学 外苑キャンパス〉



所在地
東京都港区北青山1-7-15
アクセス
JR総武線「信濃町駅」より
改札を左折、徒歩5分
東京メトロ半蔵門線・銀座線・
都営地下鉄大江戸線「青山一丁
目駅」0番出口より、徒歩約10分

名古屋会場

〈愛知県産業労働センター ウィンクあいち〉



所在地
名古屋市中村区名駅4丁目
4-38
アクセス
JR「名古屋駅」桜通口より
ミッドランドスクエア方面
徒歩5分
ユニモール地下街5番出口
徒歩2分

福岡会場

〈パピヨン24〉



所在地
福岡市博多区千代1-17-1
アクセス
地下鉄「千代田駅」
4番出口直結
西鉄バス停「千代田」下車すぐ

自宅(滞在所)から試験会場までの経路は必ず事前に確認してください。

合否判定

体験授業型入試

体験授業型入試は受験したすべてのコースで「出願可」となる場合があります、志望順位に関わらず出願(進学)するコースを選ぶことができます。

そのため、Ⅰ期は最大3コース、Ⅱ期は最大2コースで「出願可」となる場合があります。

ただし、情報デザイン学科は4コース共通で体験授業を行うため、情報デザイン学科内でのコース併願をした場合は、Ⅰ期は最大6コース、Ⅱ期は最大5コースで「出願可」となる場合があります。

科目選択型入試・面接型入試・大学入学共通テスト利用型入試

出願書類(願書・調査書など)と試験結果により総合的に判定します。

2コース以上併願し、複数のコースで合格基準に達した場合は、志望順位の高いコースのみ合格となります。同一コースで試験科目を変えて複数の科目を受験した場合、成績順位の高い科目で判定します

合格発表

入試種別	合格発表日(合否結果通知の投函日)
授業形式 体験授業型入試Ⅰ期	11月1日(金) ※エントリー結果発表は9月24日(火)
授業形式 体験授業型入試Ⅱ期	11月1日(金) ※エントリー結果発表は10月18日(金)
筆記形式 科目選択型入試Ⅰ期	12月2日(月)
面接形式 面接型入試Ⅰ期	
筆記形式 科目選択型入試Ⅱ期	2025年2月7日(金)
面接形式 面接型入試Ⅱ期	
共通テスト 大学入学共通テスト利用型入試Ⅰ期	2025年2月17日(月)
共通テスト 大学入学共通テスト利用型入試Ⅱ期	2025年3月5日(水)

- ・結果は、インターネット出願サイトにて発表します(インターネット出願サイトへのログインが必要です)。
- ・インターネット出願サイトにて、本学を「お気に入り登録」していない場合、メッセージは届きません。必ず「お気に入り登録」をしてください。
- ・合格者に対しては、「合格通知」と「入学手続要項」を特定記録郵便(不在でも郵便受箱に配達されます)で送付します。
- ・不合格通知は送付いたしません。
- ・学内掲示は行いません。また電話による問い合わせは一切受け付けておりません。

追加合格

各入学試験における合格発表時に、追加合格の候補者には順位と連絡期間を通知します。第一次手続締切日以降に欠員が生じた場合、まずは該当者に電話連絡を行い、追加合格を出します。欠員が生じない場合は、追加合格を出しません。なお、入学手続完了後の辞退など、状況により第二次手続締切日以降も同様に追加合格を出す場合があります。

※電話連絡は対象順位の高い方から順に行います。不在の場合に次の順位の方に連絡を行うことはありません。

※追加合格の状況などの問い合わせには応じません。

入学手続

入学手続は「入学手続時納入金」の完納をもって完了し、完納された方に「入学許可書」を送付します。

「入学手続時納入金」とは、以下の3つを合わせたものです。

- ・入学申込金(250,000円)
- ・2025年度 学費(授業料+施設・設備費) ※入学手続時に前期分納入または年間分納入を選択できます
- ・学生預り金

なお、納入方法は下記2通りの方法があります。

(1) 二段階納入方式

入学手続を一次手続と二次手続の2回に分けて行う方式です。第一次手続締切日までに入学申込金(250,000円)を納入し、第二次手続締切日までに前期分もしくは年間分の授業料+施設・設備費、学生預り金を納入してください。

(2) 一括納入方式

入学手続を1回で行う方式です。第一次手続締切日までに入学申込金(250,000円)および前期分もしくは年間分の授業料+施設・設備費、学生預り金を一括納入してください。

※面接型入試Ⅱ期、科目選択型入試Ⅱ期、大学入学共通テスト利用型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)の手続は<一括納入方式>のみとなります。

※国の修学支援制度を利用する場合、手続方法は<二段階納入方式>のみとなります。(国の修学支援制度についてはP46)

※後期分の学費については、例年入学後の9月20日頃が納入期限となっています。

※入試ごとの入学手続き方法の詳細については、合格通知に同封される「入学手続要項」にてご確認ください。

2025年度 学費

学科	コース	授業料	施設・設備費
美術工芸	日本画	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 320,000円 (前期分 160,000円)
	油画		
	写真・映像		
	染織テキスタイル		
	総合造形		
	アートプロデュース	年間分 1,050,000円 (前期分 525,000円)	年間分 100,000円 (前期分 50,000円)
	文化財保存修復・歴史遺産		年間分 130,000円 (前期分 65,000円)
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 350,000円 (前期分 175,000円)
	マンガ		年間分 300,000円 (前期分 150,000円)
情報デザイン	ビジュアルデザイン	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 350,000円 (前期分 175,000円)
	イラストレーション		
プロダクトデザイン	ゲームクリエイション		
	映像クリエイション		
空間演出デザイン	プロダクトデザイン	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 300,000円 (前期分 150,000円)
	クロステックデザイン		
環境デザイン	空間デザイン		
	ファッションデザイン		
映画	建築・インテリア・環境デザイン	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 300,000円 (前期分 150,000円)
	映画製作		
舞台芸術	俳優	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 350,000円 (前期分 175,000円)
	演技・演出		
文芸表現	舞台デザイン	年間分 1,050,000円 (前期分 525,000円)	年間分 100,000円 (前期分 50,000円)
	クリエイティブ・ライティング		
こども芸術	こども芸術	年間分 1,320,000円 (前期分 660,000円)	年間分 300,000円 (前期分 150,000円)

学生預り金

種類	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険料 学研災付帯賠償責任保険料	4,660円(保険期間4年:入学年度のみ)	正課・課外活動中の災害や事故、通学中の傷害等に備えて、全員加入する保険です。
学生会費	5,000円(2025年度分:毎年必要)	学生が運営する行事(学園祭等)の運営費やクラブ活動補助などにあてられます。
保護者会(蒼山会)会費	10,000円(2025年度分:毎年必要)	福利厚生、奨学金、就職支援、会報誌の発行等、学生支援事業の運営費にあてられます。
合計	19,660円	

入学辞退・入学取消

入学辞退 辞退連絡および「辞退届」請求期限：2025年3月31日(月)17時まで

入学手続後、他大学合格等により入学を辞退する場合は、電話にて「辞退届」をアドミッション・オフィスに請求してください。入学申込金を除く入学手続時納入金を返還します。

※辞退することが確定してから「辞退届」を請求してください。見込段階での請求はご遠慮ください。

※「辞退届」を受理してから返金まで、半月から1ヵ月程度かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、辞退される場合は速やかにご連絡ください。

※請求期限を過ぎた場合、理由の如何に関わらず返還できません。

※体験授業型入試Ⅰ期・Ⅱ期は、専願入学方式です。一旦納入された入学手続時納入金は返還されません。

入学取消

2025年3月31日までに出願資格(P2)を満たすことができなかった場合、入学許可後であっても入学許可を取り消します。入学取り消しとなった場合、入学申込金を除く入学手続時納入金を返還します。

※請求期限を過ぎた場合、理由の如何に関わらず返還できません。

その他の入学試験

以下の入学試験に関する情報は、この募集要項には記載していません。

1年次入学

【外国人留学生】

外国籍で「留学」の在留資格を得ている(または得る予定の)方は、外国人留学生入学試験の出願資格に当てはまります。

本学WEBサイトより「外国人留学生募集要項」をダウンロードしてご覧ください。

【海外帰国生】

本学WEBサイトより「海外帰国生徒入試募集要項」をダウンロードしてご覧ください。

入試種別	出願期間	試験日	実施会場	合格発表日
海外帰国生徒入試	10月28日(月)～11月2日(土)	11月21日(木)	京都	12月4日(水)

2・3年次編入学

【日本人学生】

本学WEBサイトより「編入学試験募集要項」をダウンロードしてご覧ください。

入試種別	出願期間	試験日	実施会場	合格発表日
編入学試験	10月28日(月)～11月2日(土)	11月21日(木)	京都	12月4日(水)

【外国人留学生】

本学WEBサイトより「外国人留学生編入学試験募集要項」をダウンロードしてご覧ください。

大学院(修士課程・博士課程)

大学案内、募集要項をご希望の方は、本学WEBサイトよりダウンロードしてご覧ください。

通信教育部

本学では通信教育部も設置しております。資料をご希望の方は、通信教育部入学課(☎0120-20-9141)までご請求ください。

入学後に必要となる教材・機材

入学後、学科・コースにより、パソコン・ソフト・画材等を購入する必要があります。入学予定の方に教材等の案内を大学より2025年2～3月にご案内しますのでご確認ください。なお、購入機材を変更する場合があります。

※同等品をお持ちの場合は新たに購入する必要はありませんが、特にパソコンやソフトなどは、特別価格にて購入できますので、大学での購入をお勧めします。また、在学中はMicrosoft Office365 Pro Plusが無償で利用できます。

学科	コース	教材・機材	昨年度参考価格
美術工芸	日本画	基本画材(顔料、墨、岩絵具、刷毛、参考図書など) ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約100,000円 約204,000円～ 約92,000円
	油画	基本画材(油絵具、筆、パレット、画用液など)※すべて新規購入の場合 ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約96,000円 約204,000円～ 約92,000円
	写真・映像	ノートパソコン(MacBook Pro推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) デジタルカメラ(レンズ交換ができるデジタルカメラの購入が必要。中古でも可)	約258,000円～ 約92,000円 約100,000円～
	染織テキスタイル	染織材料セット(刷毛、スケールなど) ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) ミシン 教科書「染織演習 染」・「染織演習 織」	約19,000円 約204,000円～ 約92,000円 約30,000円 7,500円
	総合造形	防塵用マスク、グラインダー、その他教材 ノートパソコン(MacBook Pro推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 3Dモデリングソフト用Wacomペンタブレット、ワイヤレスマウス等	約65,000円～75,000円程度 約258,000円～ 約92,000円 約10,000円～
	アートプロデュース	ノートパソコン(Mac推奨) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約150,000円 約10,000円～ 1年間 20,000円
	文化財保存修復・歴史遺産	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約140,000円 約10,000円 1年間 20,000円
キャラクターデザイン	キャラクターデザイン	ノートパソコン必携(Macまたはwindows) iPadまたはwacom Apple Pencil(iPad購入の場合必要) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/他履修する授業によりソフトが異なる)	約180,000円～約260,000円 約45,000円 約13,000円 約110,000円
	マンガ	ノートパソコン(Mac推奨) iPadシリーズ+Apple Pencil ソフト(Adobe CC 4年間使用料/MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト)	約160,000円～220,000円 約70,000円 約110,000円
情報デザイン	ビジュアルデザイン	ノートパソコン(MacBook Pro) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カットティングマット、定規、画材など	約260,000円 約160,000円 約10,000円
	イラストレーション	ノートパソコン(MacBook Pro) iPad, Apple Pencil ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カットティングマット、定規、画材など	約260,000円 約58,000円 約160,000円 約10,000円
	ゲームクリエイション	ノートパソコン(windows推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カットティングマット、定規、画材など	約190,000円 約160,000円 約10,000円
	映像クリエイション	ノートパソコン(windows推奨) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/ MORISAWA PASSPORT/セキュリティソフト) カットティングマット、定規、画材など	約190,000円 約160,000円 約10,000円
プロダクトデザイン	プロダクトデザイン	ノートパソコン(Winのみ) ※学校指定の3DCAD対応パソコンの購入が必要 ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 製図デザイン用具(工具・防塵マスク・教材費を含む) 1年次授業材料費 カメラ(エントリークラス)	約200,000円 約90,000円 約50,000円 約20,000円 約60,000～140,000円
	クロステックデザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC, 2年次以降、授業選択によっては購入が必要) 1年次授業材料費(履修希望者のみ) カメラ(エントリークラス)	約180,000～200,000円 約10,000円 1年間20,000円 約20,000円 約60,000～140,000円
空間演出デザイン	空間デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) カットティングマット、定規、資料集など	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約20,000円
	ファッションデザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 基本制作道具、定規など パターンメイキングボディ(2年次以降、授業選択によっては購入が必要) ジュエリー制作道具(2年次以降、授業選択によっては購入が必要)	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約30,000円 約50,000円～約60,000円 約10,000円
環境デザイン	建築・インテリア・環境デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 製図用具(A2平行定規、その他各種定規など)	約130,000円～約210,000円 約90,000円 約50,000円～85,000円
映画	映画製作 俳優	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト)	約150,000～260,000円 約110,000円
舞台芸術	演技・演出	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) 作業用ヘルメット、安全スニーカーなどの安全装備(授業選択によっては購入が必要)	約130,000円～150,000円 約10,000円 約5,000円
	舞台デザイン	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) タブレット(iPad他可) 作業用ヘルメット、安全スニーカーなどの安全装備	約150,000円～250,000円 約10,000円 約58,000円 約5,000円
文芸表現	クリエイティブ・ライティング	ノートパソコン(Win・Mac可) ソフト(セキュリティソフト) ソフト(Adobe CC) 授業選択によって購入が必要な場合があるため、入学後に購入検討を推奨	約120,000円～約150,000円 約10,000円～ 1年間 20,000円
こども芸術	こども芸術	ノートパソコン(MacBook Air) ソフト(Adobe CC 4年間使用料/セキュリティソフト) 絵画用具など	約180,000円～210,000円 約92,000円 約10,000円

※Adobe CC(アドビ クリエイティブクラウド)

取得できる資格

取得できる資格

● = 取得資格 ◆ = 受験資格

学科	中学校・高等学校教諭 ^{※1}	博物館学芸員	一級建築士	二級建築士・木造建築士	一級造園施工管理技士	二級造園施工管理技士	商業施設士	幼稚園教諭	保育士	社会福祉主事任用資格	准学校心理士資格
美術工芸	●	●									
キャラクターデザイン	●	●									
情報デザイン	●	●									
プロダクトデザイン	●	●									
空間演出デザイン	●	●					◆ ^{※5}				
環境デザイン	●	●	◆ ^{※2}	◆	◆ ^{※3}	◆ ^{※4}					
映画		●									
舞台芸術		●									
文芸表現		●									
こども芸術		●						●	●	●	● ^{※6}

※1 中学校・高等学校教諭免許状について

映画学科・舞台芸術学科・文芸表現学科・こども芸術学科は取得できません。

※2 2020年試験から卒業後すぐに一級建築士も受験可能となりました。

※3 卒業後、指導監督の実務経験年数1年以上を含む、3年以上の実務経験を経て受験資格を取得できます。
(カリキュラム改編により、受験資格が変更となる場合があります。)

※4 卒業後1年以上の実務経験を経て、受験資格を取得できます。(カリキュラム改編により受験資格が変更となる場合があります。)

※5 空間デザインコースのみ取得でき、卒業後1年間の実務経験を経て、受験資格を取得できます。
(在学中に「商業施設士補」を取得した場合は、卒業後の実務経験は不要です。)

※6 指定された科目を修得し、各自で申請する必要があります。

中学校・高等学校教諭免許状について

学科(コース)	免許状の種類
美術工芸 (日本画/油画/写真・映像/アートプロデュース/文化財保存修復・歴史遺産) キャラクターデザイン 情報デザイン プロダクトデザイン 空間演出デザイン 環境デザイン	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)
美術工芸 (染織テキスタイル / 総合造形)	中学校教諭一種免許状(美術) 高等学校教諭一種免許状(美術)(工芸)

住まいのご案内

本学では在学生の約半数近くの方が入学を機に自宅を離れ、下宿生活を行っています。一人暮らしを始められる方が安心して生活できる住環境を確保できるよう大学事業部である(株)瓜生サービスが優良企業と業務提携を行い、学生マンション・アパート・下宿の紹介業務を行っています。準寮という位置づけで、本学園の学生のみが学年・学科を超えた共同生活を行う「シェアフラット」や、本学の学生専用のもの、女子学生専用のもの、共同工房や談話室などが付属したものなど様々な物件をご用意しております。また、入学予定者を対象にした「下宿相談会」も行います。

詳しい内容については、合格者の皆さんへ改めてご案内します。

【お問合せ先】

京都芸術大学事業部 株式会社瓜生サービス TEL : 075-711-9297

【詳細】

<https://www.kyoto-art.ac.jp/admission/procedure/residence/>



奨学金制度 / 教育ローン / 創作活動・奨励制度

国の奨学金制度(日本学生支援機構奨学金)

日本学生支援機構奨学金「給付型奨学金」「貸与型奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金)」は、経済的理由により修学の困難がある優れた学生等に対し給付・貸与されます。

①入学前に奨学金を申請する場合

高等学校等での予約採用が必須となります。予約採用とは入学前に奨学金を予約する制度です。在学している高等学校等の奨学金窓口に申し出てください。

②入学後に奨学金を申請する場合

入学後4月のガイダンス期間に申込資料配布日を設けますので、受け取りの上、申し込みをしてください。

【給付型奨学金】

給付型奨学金の採用者となった場合、「入学金」および「授業料」が免除・減額されます。

種類	金額	「入学金」および「授業料」の減免上限額	選考基準ほか
第1区分	自宅生：月額 38,300円 (月額 42,500円) 自宅外：月額 75,800円	年間 約95万円	日本学生支援機構が定める、「学力基準」「収入・資産基準」に該当する必要があります。詳しくは日本学生支援機構ホームページをご覧ください。 (受給者数532名 ※2023年度1～4年生)
第2区分	自宅生：月額 25,600円 (月額 28,400円) 自宅外：月額 50,600円	年間 約60万円	
第3区分	自宅生：月額 12,800円 (月額 14,200円) 自宅外：月額 25,300円	年間 約30万円	

※給付金額は世帯の所得金額に基づく区分および通学形態により決定されます。

※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

※学費のうち、施設設備費、諸費は減免対象に含まれません。

※入学後に給付奨学金を申請し、採用された場合も4月分から支援を受けることができます。入学金・前期授業料の減免は後期授業料納入時に精算いたします。

※上記は、2024年1月時点での情報です。2024年度より多子世帯の中間層へ制度を拡大して新しい区分が設定される予定です。詳細は、日本学生支援機構や文部科学省のWebサイトをご確認ください。

【貸与型奨学金】

貸与終了後に返還の義務が生じ、毎月決められた金額を返還していくことになります。

種類	金額	選考基準ほか
第一種奨学金 (貸与無利子)	自宅生：月額 20,000円、30,000円、40,000円、54,000円から選択 自宅外：月額 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円から選択	1年生：高校時の評定平均値3.5以上 2年生～：成績上位1/3以上 (受給者数572名 ※2023年度1～4年生)
第二種奨学金 (貸与有利子 利率上限3%)	次の月額の中から希望する額を選択 2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12万円	1年生：高校時の成績が平均水準以上 2年生～：大学での成績が平均水準以上 (受給者数954名 ※2023年度1～4年生)

※給付型奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併給調整として貸与月額が減額または増額されます。

※高等学校卒業程度認定試験合格者は、科目の成績が選考基準となります。

その他の奨学金制度

その他、学外の団体等が大学を通じて募集する奨学金については、各募集案内が到着次第、随時、在学生専用サイトにより通知します。

卒業生の子女に対する修学支援について

卒業生の子女を対象とした修学支援を実施いたします。

「卒業生の子女」の定義：入学者の「保護者」または「学費支弁者」が下記a～dの卒業生であること

- 京都芸術大学・大学院(旧名称 京都造形芸術大学・大学院) 通学課程・通信教育課程
- 京都芸術短期大学
- 京都芸術デザイン専門学校(旧名称 京都国際文化専門学校)
- 藤川学園

※合格者に送付する入学手続資料に「卒業生の子女に対する修学支援」のご案内を同封します。

※卒業生の方は、a～dの該当する「卒業証明書」のご提出が必要となります。

※入学金相当額の25万円相当が修学支援として減免されます。該当される方は後期学費から25万円を減免いたします。

※詳細は入学手続時納入金納付時のご案内をご確認ください。

※詳しい内容は「瓜生山同窓会」のWEBサイトをご覧ください。URL | <http://www.uridou.jp/about/member/#graduate>

※国の奨学金制度(給付型奨学金)の入学金減免との併用はできません。

教育ローン

教育ローンとは金融機関が個人を対象にして行う、用途を教育関係経費(入学金、授業料の支払いなど)に限定したローンのことです。銀行などの金融機関が行うものや国が行うものがあります。

【提携信販会社教育ローン】

オリエントコーポレーション(オリコ)との提携による教育ローンの利用ができます。授業料などの納付金を簡単な申込み手続き(ネット申込み)で利用できる学費の立替払い制度です。詳しくは下記までお問い合わせください。

提携信販会社|株式会社オリエントコーポレーション
URL|<https://orico.jp/gakusapo/> または[オリコ学費]で検索
学費サポートデスク TEL|0120-517-325(フリーダイヤル)
お問い合わせ受付時間|9:30~17:30(平日)※土日祝休

【その他の教育ローン】

その他、日本政策金融公庫、都銀、地銀、ゆうちょ、JAなどの各種教育ローンの取り扱いについては、各自内容をお調べいただき各機関の窓口へお問い合わせください。

参考|日本政策金融公庫「国の教育ローン」
URL|<https://www.jfc.go.jp/>
TEL|0570-008656 または 03-5321-8656(教育ローンコールセンター)

創作活動・奨励制度

本学では、意欲のある学生の研究や、制作活動を積極的に評価し、支援する制度を設けています。

種類	内容	補助金額
蒼山会 創作・研究補助制度	長期的かつ計画的に独創性のある創作・研究に取り組む学生を支援する制度。 一年間という期間の中で、独自の研究課題に取り組む際に、補助金が授与される。	75万円、50万円、30万円以下の いずれかから選択。ただし査定あり。
蒼山会 対外文化活動補助制度	授業以外での学生の自主的な活動(個展、グループ展、公演等)を支援し、 活動費用の一部を補助する制度。 (補助対象:会場の使用料、DM印刷費用、業者に依頼する作品の運搬費)	補助対象となる費用の5割。 ただし、上限は5万円とする。
京都芸術大学 優秀学生賞	研究・制作活動、課外活動に秀でた学生を表彰する制度。 学科推薦により、優秀な4年生を表彰する。	5万円。

都道府県別志願者高等学校等一覧 (順不同)

北海道

札幌緑谷・千歳・八雲・札幌大通・旭川永嶺・函館・北見緑陵・小樽双葉・帯広柏葉・函館西・札幌光星・室蘭清水丘・立命館慶祥・室蘭栄・旭川工業高専・滝川・恵庭北・札幌南・別海・札幌藻岩・藤女子・札幌白石・帯広緑陽・札幌平岸・札幌啓成・北見北斗・札幌工業・函館中部・クラーク記念国際・北海道芸術・名寄・札幌龍谷学園・星槎国際・足寄・帯広工業・釧路江南・網走南ヶ丘・帯広三条・旭川藤星・天売・北星学園女子・おといねっぶ美術工芸・七飯・札幌新陽・札幌旭丘・札幌国際情報・北海道栄

青森県

青森東・弘前中央・青森南・青森中央・青森・八戸北・八戸

岩手県

不来方・盛岡大学附属・盛岡中央・一関第一・盛岡第四・黒沢尻北・花巻南・北上翔南

宮城県

仙台第一・尚綱学院・常盤学園・古川学園・宮城学院・飛鳥未来きずな・宮城野・東北生活文化大学・聖ウルスラ学院英智・仙台育英学園・佐沼

秋田県

秋田中央・平成・秋田明徳館・大曲・聖霊女子短期大学付属

山形県

酒田西・日本大学山形・羽黒・鶴岡中央・新庄南・長井・創学館・基督教独立学園・新庄北

福島県

清陵情報・須賀川桐陽・いわき秀英・原町・橋・磐城・ふたば未来学園・白河・会津・安積黎明・いわき光洋

茨城県

つくば秀英・茨城キリスト教学園・聖徳大学附属取手聖徳女子・土浦日本大学・日立第一・茗溪学園・常磐大学・水戸啓明・水城・波崎・鹿島学園・S・水戸桜ノ牧・常総学院・日立北・水戸第二・清真学園・ルネサンス・古河・水戸葵陵・取手松陽・第一学院高萩校・石岡第一・緑岡・土浦第一・鉾田第一

栃木県

宇都宮文星女子・茂木・宇都宮工業・足利女子・栃木翔南・学悠館・宇都宮北・宇都宮南・小山西桜・白鷗大学足利・真岡・足利大学附属・作新学院・宇都宮短期大学附属・宇都宮東

群馬県

新島学園・前橋西・太田女子・ぐんま国際アカデミー高等部・吾妻中央・共愛学園・高崎経済大学附属・桐生工業・桐生・中央・四ツ葉学園・高崎北・高崎

埼玉県

城北埼玉・越谷南・不動岡・獨協埼玉・星野・東京農業大学第三・越谷東・松山女子・芸術総合・埼玉平成・豊岡・本庄東・熊谷西・昌平・西武学園文理・自由の森学園・熊谷・開智

千葉県

千葉英和・和洋国府台女子・木更津総合・茂原北陵・千城台・拓殖大学紅陵・市原八幡・麗澤・君津・千葉(県立)・市川東・東海大学付属浦安・磯辺・四街道・佐倉東・佐原白楊・印旛明誠・鴨川令徳・生浜・暁星国際・我孫子・流通経済大学付属柏・東葉・中央国際・明聖・ヒューマンキャンパスのぞみ・わせがく・木更津工業高専・佐原・国府台女子学院高等部・千葉日本大学第一・二松学舎大学附属柏・翔漢

東京都

府中工科・郁文館・六本木・郁文館グローバル・山脇学園・共立女子・科学技術学園・鷺宮・かえつ有明・文京学院大学女子・新宿・女子聖学院・東京純心女子・

保善・開智日本橋学園・雪谷・竹台・立志舎・芦花・橋・豊多摩・多摩大学附属聖ヶ丘・桜修館・総合芸術・足立学園・文京・京華・攻玉社・真静学園・杉並・潤徳女子・玉川聖学院高等部・豊島学院・拓殖大学第一・駒場学園・共栄学園・武蔵丘・目黒日本大学・大江戸・国士館・若葉総合・三田国際学園・三田・杉並学院・八王子学園八王子・つばさ総合・白鷗・玉川学園高等部・錦城学園・正則・桐朋女子・目黒学院・工芸・関東第一・聖学院・京華女子・NHK学園・晃華学園・大島海洋国際・自由学園高等科・國學院・北園・桜町・女子美術大学付属・田柄・三輪田学園・品川エトワール女子・トクワ松学園・新渡戸文化・田園調布雙葉・東京農業大学第一・明星学園・芝・東洋英和女学院高等部・品川翔英・東京成徳大学・八王子桑志・東京女学院・九段・小山台・実践女子学園・明治大学付属中野・白百合学園・和光・関東国際・多摩大学目黒・富士見丘・新宿山吹・東京都市大学付属・獨協・東京学芸大学附属・芝浦工業大学附属・東京女子学院

神奈川県

相模原弥栄・座間総合・森村学園高等部・橋学園・横浜隼人・上清南・英理女子学院・横浜翠嵐・藤嶺学園藤沢・神奈川大学附属・鎌倉学園・光陵・清泉女学院・湘南学院・相模女子大学高等部・鹿島山北・大和西・大船・逗子開成・秦野・聖園女学院・平塚学園・希望ヶ丘・横浜翠陵・星槎・青山学院横浜英和・湘南工科大学附属・捜真女学校高等学部・日本大学藤沢・神奈川総合・横須賀学院・湘南学園・相模原・桐蔭学園・関東学院・北鎌倉女子学園・旭丘・白鷗女子

新潟県

上越・東京学館新潟・北越・燕・新潟商業・柏崎・長岡商業・新潟・高田北城・新潟南・新潟第一・日本文理・上越総合技術・長岡工業・新潟明訓・三条・中越・佐渡・開志国際・帝京長岡・柏崎翔洋・長岡・新潟中央・新発田・長岡大手・高田

富山県

となみ野・高朋・富山工業・高岡龍谷・富山中部・石動・大門・片山学園・雄山・入善・新川・富山商業・小杉・呉羽・滑川・氷見・富山北部・富山南・不二越工業・富山・八尾・高岡工芸・富山第一・高岡・富山いずみ・高岡向陵

石川県

遊学館・大聖寺・松任・日本航空高等学校石川・小松明峰・金沢西・小松大谷・金沢辰巳丘・七尾・金沢二水・金沢学院大学附属・金沢工業(県立)・星稜・飯田・金沢錦丘・小松市立・北陸学院・金沢泉丘・野々市明倫

福井県

福井商業・金津・武生東・武生・福井南・啓新・藤島・大野・敦賀・福井工業大学附属福井・鯖江・敦賀賀比・北陸・羽水・若狭東・仁愛女子・科学技術・若狭・武生商工・美方・坂井・勝山・足羽・福井工業高専・三国・高志

山梨県

北杜・甲府昭和・身延・吉田・甲府第一・自然学園・巨摩・日本航空・駿台甲府・山梨学院

長野県

松商学園・小海・長野工業高専・松本工業・上田・岩村田・I D学園・篠ノ井・飯田・飯田女子・伊那弥生ヶ丘・信濃むつみ・伊那西・つくば開成学園・長野清泉女学院・長野南・諏訪二葉・木曾青峰・飯田風越・松本美須ヶ丘・蘇南・エクセラシオン・長野吉田・長野俊英・長野(県立)・東御清翔・佐久長聖・松本秀峰・丸子修学館・松本県ヶ丘・コードアカデミー・長野西・岡谷南・須坂・屋代・松本深志・松本国際・地球環境・松本第一・諏訪清陵・松本蟻ヶ崎・長野(市立)・さくら国際・野沢北・軽井沢・伊那北

岐阜県

大垣日本大学・岐阜総合学園・岐阜・岐阜商業(県立)・岐阜第一・帝京大学可児・岐阜北・岐阜工業・ぎふ国際・鶯谷・本巣松陽・岐阜聖徳学園・中京・大垣商業・郡上・加茂農林・羽島北・加茂・瑞浪・長良・多治見・大垣南・恵那・各務原西・美濃加茂・武義・大垣西・多治見工業・富田・岐阜東・麗澤瑞浪・大垣東・斐太・可児・加納・関

静岡県

オイスカ浜松国際・袋井・静岡雙葉・科学技術・磐田農業・浜松学院・浜松商業・浜松日体・菫山・日本大学三島・清水南・藤枝西・静岡市立・静岡北・駿河総合・沼津東・焼津中央・掛川西・静岡英和女学院・聖隷クリストファー・伊豆中央・沼津市立沼津・不二聖心女子学院・浜名・誠恵・磐田南・榛原・浜松聖星・浜松大平台・磐田東・藤枝明誠・飛龍・静岡県西遠女子学園・東海大学付属静岡翔洋・浜松湖東・浜松南・静岡聖光学院・星陵・富士市立・浜松啓陽・伊東・常葉大学附属菊川・小笠・浜松西・藤枝北・藤枝順心・沼津西・浜松市立・掛川東・川根・静岡サレジオ・加藤学園・浜松学芸・浜松湖南・浜松城北工業・静岡中央・浜北西・浜北北・清流館・浜松工業・静岡東・静岡市立清水桜が丘・静岡・富士

愛知県

岡崎北・安城学園・愛知工業大学名電・桜丘・豊川・中央・半田東・小牧南・豊丘・高蔵寺・豊田・菊華・西陵・日本福祉大学付属・西尾・成章・名古屋大学教育学部附属・西尾東・知立東・名古屋国際・工芸・南山・誉・大成・名古屋大谷・津島東・人間環境大学附属岡崎・一宮北・桜花学園・江南・新川・金城学院・豊橋南・津島・犬山・小牧・愛知みずほ大学瑞穂・修文学院・西春・愛知総合工科・東海学園・岡崎西・刈谷・享栄・星城・豊田東・中部大学春日丘・熱田・ルネサンス豊田・小坂井・名東・東邦・聖霊・菊里・名古屋工科・東郷・大同大学大同・刈谷北・安城農林・岡崎城西・愛知淑徳・同朋・名古屋経済大学市邨・名古屋女子大学・名城大学附属・山田・光ヶ丘女子・旭陵・旭丘・旭野・松蔭・安城・愛知・瀬戸西・東海南・天白・桜台・知立・豊田南・半田・名古屋西

三重県

松阪工業・四日市商業・徳風・四日市南・川越・木本・飯野・宇治山田・伊勢・伊賀白鳳・英心・亀山・桜丘・桑名西・四日市工業・津東・津・津田学園・皇学館・代々木・上野・津西・四日市西・あけぼの学園・鈴鹿・愛農学園農業・紀南・高田・昂学園・津工業・海星・名張青峰・眺・明野・三重・松阪

滋賀県

安曇川・伊吹・大津清陵・彦根総合・司学園・長浜北星・愛知・堅田・守山北・草津・信楽・彦根東・八幡工業・長浜農業・米原・玉川・守山・能登川・近江兄弟社・大津・E C C学園・八幡・長浜北・八日市・滋賀短期大学附属・滋賀学園・大津商業・東大津・虎姫・光泉カトリック・彦根翔西館・草津東・石部・比叡山・野洲・近江・石山・立命館守山・北大津・栗東・伊香・八幡商業・国際情報・甲西・河瀬・高島・水口・水口東・甲南・八日市南・膳所

京都府

宮津・京都八幡・立命館・立命館宇治・久美浜・同志社女子・洛星・大江・峰山・京都西山・須知・園部・福知山成美・福知山淑徳・洛東・東稜・工業・西京・京都共栄学園・北嵯峨・京都芸術西学附属・京都芸術・清明・亀岡・鴨津・久御山・京都奏和・塔南・紫野・美術工芸・一燈園・京都橋・田辺・京都先端科学大学附属・東舞鶴・北稜・京都成章・福知山・京都聖母学院・京都つばね開・京都芸術西学二別・山城・洛北・朱雀・洛陽総合・龍谷大学付属平安・西城陽・洛西・京都文教・鳥羽・京都教育大学附属・南陽・京都精華学園・京都廣学館・京都光華・乙訓・宮津天橋・京都工学院・京都国際・京都美山・城陽・木津・伏見工業・菟道・大谷・京都女子・平安女学院・舞鶴工業高専・京都在大西・城南菱創・花園・京都すばる・日吉ヶ丘・桃山・向陽・桂・西舞鶴・東宇治・京都翔英・

ノートルダム女学院・京都両洋・開建・嵯峨野・農芸・洛水・京都明德・同志社国際・同志社・京都産業大学附属・堀川

大阪府

山本・大阪金剛インターナショナル・汎愛・箕面学園・かわち野・英風・北野・北摂つばさ・佐野・八尾・堺東・守口東・大阪ビジネスフロンティア・都島工業・野崎・精華・アナン学園・豊中・近畿大学泉州・金岡・大阪学芸・履正社・清教学園・岸和田・三国丘・アサンプション国際・枚方・あべの翔学・摂津・金蘭千里・興國・四天王寺東・芦間・箕面・関西大学北陽・狭山・堺リベラル・上宮太子・門真なみはや・岸和田市立産業・福井・貝塚・東淀川・初芝立命館・花園・明星・東大谷・南・長尾・大阪商業大学堺・西寝屋川・鳳・和泉・大阪府教育センター附属・プール学院・太成学院大学・P L学園・東住吉総合・長野・初芝富田林・清明学院・大阪緑蔭・大阪国際滝井・星翔・茨木工科・金剛・みどり清朋・大阪教育大学附属池田・大阪学院大学・大正白稜・大阪商業大学・天王寺学館・港・高槻北・夕陽丘・大阪成蹊女子・山田・港南造形・交野・柴島・大阪信愛学院・梅花・追手門学院大手前・枚方津田・緑風冠・大阪女学院・英真学園・常翔学園・工芸・桃山学院・阿倍野・ヴェリタス城星学園・開明・大阪桐蔭・千里青雲・好文学園女子・香里ヌヴェール学院・大谷・大阪つくば開成・追手門学院・金光大阪・東・いちりつ・生野・阪南・香里丘・春日丘・四條畷学園・関西大倉・渋谷・市岡・関西大学第一・藤井寺・東海大学付属大阪仰星・桜塚・近畿大学附属・西・四條畷・向陽台・大阪・大阪薫英女学院・淀川工科・八洲学園・咲くやこの花・大商学園・帝塚山学院・樟蔭・成城・清水谷・浪速・四天王寺・大阪産業大学附属・大阪電気通信大学・上宮・富田林・相愛・布施・吹田東・久米田・常翔啓光学園・大冠・直真・淀川清流・長尾谷・水都国際・北千里・箕面自由学園・芥川・旭・高石・大阪夕陽丘学園・関西大学高等部・刀根山・枚方なぎさ・金光八尾・泉北・関西学院千里国際高等部・今宮工科・関西創価・登美丘・槻の木・吹田・ルネサンス大阪・賢明学院・金光藤蔭・牧野・三島・信太・北かわち阜が丘・大阪青凌・東住吉・大阪体育大学浪商・大阪学芸・千里・豊島・野町総合・茨木西・桜宮・清風・Y M C A 学院・池田・住吉・早稲田摂陽・阪南大学・金蘭会・大阪国際・香ヶ丘リベルテ・泉陽・関西福祉科学大学・寝屋川・高槻・箕面東・帝塚山学院泉ヶ丘・東大阪大学柏原・東大阪大学敬愛

兵庫県

伊川谷・国際・姫路別所・加古川南・武庫川女子大学附属・淳心学院・明石南・尼崎(県立)・神戸女学院高等学部・神港橋・西宮(県立)・山崎・甲南・東播磨・小野・神戸大学附属・姫路飾西・北須磨・三木・豊岡・神戸高塚・加古川北・須磨学園・青雲・猪名川・尼崎(市立)・小野工業・西脇・愛徳学園・舞子・武庫荘総合・御影・神戸星城・三木北・香寺・兵庫工業・滝川第二・葺合・東洋大学附属姫路・尼崎双星・西宮北・神戸国際・雲雀丘学園・蒼間・生野・神戸弘陵学園・滝川・神戸・白陵・親和女子・伊丹北・神戸国際大学附属・須磨友が丘・神戸鈴蘭台・神戸野田・第一学院・養父校・三木東・西宮甲山・飾磨・六甲アイランド・龍野・夙川・相生産業・高砂南・三田松聖・出石・北条・川西明峰・甲南女子・科学技術・日ノ本学園・芦屋(県立)・伊丹西・赤穂・鳴尾・琴丘・龍野北・姫路東・仁川学院・賢明女子学院・東灘・神戸海星女子学院・柏原・神戸龍谷・三田学園・百合学院・明石・夢野台・神戸甲北・播磨南・育英・宝塚西・西宮今津・明石西・小林聖心女子学院・淡路三原・芦屋国際・近畿大学附属豊岡・洲本・姫路南・加古川東・川西北陵・尼崎北・芦屋学園・明石北・神戸学院大学附属・伊川谷北・須磨翔風・三田西陵・市川・宝塚・相生学院・明石城西・北摂三田・宝塚北・篠山風鳴・姫路商業・伊丹(県立)・三田祥雲館・六甲学院・関西学院高等部・尼崎小田・八鹿・川西緑台・宝塚東・松蔭・加古川西・啓明学院・有馬・須磨東・星陵・神港学園・網干・姫路工業・兵庫県立大学附属

奈良県

平城・登美ヶ丘・奈良朱雀・桜井・西の京・奈良北・

磯城野・法隆寺国際・奈良学園登美ヶ丘・西和清陵・聖心学園・奈良・畝傍・高田・高門芸術・関西文化芸術・生駒・飛鳥未来・橿原・橿原学院・智辯学園奈良カレッジ高等部・香芝・奈良女子・育英西・一条・奈良女子大学附属・国際・奈良工業高専・奈良育英・郡山・帝塚山・高円・奈良学園

和歌山県

那賀・田辺・日高・りら創造芸術・和歌山(県立)・和歌山北・和歌山東・神島・初芝橋本・熊野・高野山・和歌山信愛・和歌山(市立)・和歌山工業・向陽・星林・海南・きのくに青雲・橋本・南紀・耐久・伊都中央・近畿大学附属和歌山・桐蔭・近畿大学附属新宮・開智

鳥取県

倉吉西・米子工業・鳥取湖陵・鳥取城北・境・鳥取西・米子東・米子・湯梨浜学園・鳥取敬愛・鳥取中央育英・鳥取東・米子白鳳・米子北・青翔開智・米子西・八頭

島根県

開星・安来・三刀屋・大社・出雲工業・キリスト教愛真・横田・明誠・浜田・益田・隠岐島前・宍道・大田・松江商業・出雲北陵

岡山県

滋慶学園・新見・倉敷古城池・玉野光南・津山・岡山東商業・岡山白陵・岡山操山・岡山県共生・岡山県美術・清心女子・吉備高原学園・岡山工業・津山東・作陽学園・東岡山工業・矢掛・林野・高梁・岡山一宮・岡山大安寺・朝日塾・就実・岡山龍谷・岡山理科大学附属・総社南・岡山・岡山南・邑久・鹿島朝日・岡山後楽館・玉野・西大寺・おかやま山陽・明誠学院・岡山芸芸館・創志学園・高梁城南・倉敷・岡山芳泉・岡山城東・玉島(県立)・倉敷南・岡山商科大学附属

広島県

千代田・比治山女子・呉港・盈進・広島文教大学附属・世羅・山陽学園高等部・A I C J ・広島井口・広島城北・広島大学附属福山・尾道商業・安芸南・広島皆実・広島みらい創生・廿日市・庄原格致・進徳女子・近畿大学附属広島(東広島校)・尾道・崇徳・福山明王台・清水ヶ丘・広島観音・忠海・広・ノートルダム清心・祇園北・東林館・吉田・尾道東・広島国際学院・呉青山・五日市・如水館・安田女子・呉・広島商業(市立)・広島工業大学・銀河学院・武田・福山葦陽・廿日市西・広陵・安古市・山陽・福山・呉三津田・広島女学院・広島修道大学ひろしま協創・美鈴が丘・基町・沼田・修道・広島・舟入・尾道北・海田・広島なぎさ・並木学院

山口県

華陵・田布施農工・豊浦・光・高森・宇部鴻城・早鞆・宇部フロンティア大学付属香川・高水・山口中央・山口・精華学園・山口県桜ヶ丘・下関・松陰・徳山・下松・岩国・宇部中央・梅光学院・防府西・柳井・慶進・防府

徳島県

生光学園・小松島西・鳴門・阿南光・徳島科学技術・城東・那賀・富岡東・徳島市立・徳島商業・富岡西・池田・城ノ内・川島・名西・小松島・脇町・徳島北・城北

香川県

高松東・丸亀・英明・丸亀城西・香川高専・高松桜井・高松商業・高松北・高松第一・三木・観音寺第一・高松西・普通寺第一・高松中央・高松工芸・大手前丸亀・三本松・高瀬・香川中央

愛媛県

宇和島南・三崎・東温・西条・帝京第五・今治北・伊予・新居浜西・松山東・松山中央・愛光・松山工業・松山北・済美・未来・今治西・三島・新田青雲・新居浜東・新田・松山南・八幡浜・松山西

高知県

土佐塾・高知中央・高知南・高知小津・高知・高知西・中村・土佐女子・伊野商業・山田・高知学芸・高知工業・土佐・高知追手前・明徳義塾

福岡県

大牟田・糸島・明蓬館・小倉工業・明光学園・祐誠・福岡工業・小倉南・筑紫中央・福岡中央・八幡・新宮・伝習館・春日・田川・門司学園・光陵・福岡雙葉・筑紫台・小倉西・戸畑・東海大学付属福岡・自由ヶ丘・つくば開成福岡・玄界・香住丘・東筑・明治学園・東筑紫学園・東福岡・九州産業大学付属九州・福岡女子商業・福岡芸術・筑陽学園・福岡大学附属若葉・八幡中央・福岡西陵・九州国際大学付属・中村学園女子・福岡・西南女学院・筑前・筑紫女学院・博多青松・太宰府・福岡女学院・嘉穂東・ひびき・古賀竟成館・修猷館・上智福岡・城南・西日本短期大学附属・八女・香椎・九州産業大学付属九州産業・山門・京都・筑紫丘・西南学院・柳川

佐賀県

伊万里・神埼・佐賀学園・唐津西・早稲田佐賀・佐賀西・武雄・佐賀清和・佐賀北・小城・弘学館・佐賀商業

長崎県

上五島・創成館・長崎西・上対馬・長崎東・猶興館・長崎日本大学・波佐見・佐世保西・諫早・活水・長崎北・島原

熊本県

熊本マリスト学園・秀岳館・熊本北・必由館・文徳・球磨工業・第一・一ツ葉・第二・八代・熊本学園大学付属・九州学院・鹿本・ルーテル学院・開新

大分県

大分国際情報・鶴崎工業・別府鶴見丘・爽風館・大分・臼杵・岩田・芸術緑丘・明豊・竹田・大分豊府・杵築・佐伯鶴城・大分東明

宮崎県

宮崎西・五ヶ瀬・宮崎学園・小林・宮崎南・日章学園九州国際・宮崎日本大学・延岡・宮崎第一・宮崎大宮・宮崎北・延岡学園・日向学院・延岡星雲

鹿児島県

串木野・鹿児島第一・鹿児島中央・隼人工業・大島・国分・川内・松陽・屋久島おおぞら・神村学園高等部・鹿児島実業・鹿児島情報・鹿児島・樟南・鹿屋・れいめい・開陽・池田学園池田・出水中央・鶴丸・種子島

沖縄県

具志川・那覇国際・昭和薬科大学附属・向陽・コザ・名護商工・美里・陽明・小禄・八重山・開邦・N・つくば開成国際・ヒューマンキャンパス・八洲学園大学国際・豊見城・宮古・沖縄カトリック・興南・沖縄尚学

その他

外国の学校等・専修学校の高等課程・高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定・在外教育施設

※掲載は最近3年間の志願者の出身校です。志願時の情報に基づいて作成しているため、校名変更等が反映されていない場合があります。

教育目標

人類が直面する困難な課題を克服するために、自らの「人間力」と「創造力」を鍛え、社会の変革を牽引することのできる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

京都芸術大学学士課程は、「藝術立国」を基本使命とし、教育目標に定める社会の変革を牽引することのできる人材の育成を目的として、「人間力」と「創造力」を身につけた学生に学位を授与します。「人間力」はおもに、自立した一人の人間として生きるための「知識・情報収集力」「コミュニケーション力」「倫理観」から成り立っています。「創造力」は、芸術の力を社会に活かすための「論理的思考力」「発想・構想力」「表現力」から成り立っています。

人間力

知識・情報収集力 | 自分を取りまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる
コミュニケーション力 | 人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる
倫理観 | 自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる

創造力

論理的思考力 | 所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる
発想・構想力 | 感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる
表現力 | テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

《教育課程編》

京都芸術大学芸術学部は、教育目標およびディプロマ・ポリシーを達成するため、以下の方針に基づきカリキュラムを編成します。カリキュラムは、学部共通の「芸術教養科目」と学科毎に開設する「専門科目」から構成され、両者が有機的に連動することにより、ディプロマ・ポリシーに定める6つの能力を体系的に修得できるようになっています。芸術教養科目は選択科目を中心に構成され、学生が自らの学修目的に応じて選択できるようになっています。専門科目はコア・カリキュラムとして精選された必修科目を中心に構成されています。

芸術教養科目

芸術教養科目は、大学の基本使命である「藝術立国」を理解し、芸術を未来社会に活かすうえで必要なりテラシーを身につけることを目的とした7つの科目群から構成されます。教養としての知識・技術を修得することに加え、さまざまな専門領域を学ぶ学生が協働して取り組むプロジェクト型授業や、専門の垣根を超えて学ぶ副専攻を通じて、領域横断的に学修します。

1. 教養科目群 | 広く世界や人間を知り、藝術立国の理念を社会で実現するための教養を身につける
2. 芸術科目群 | 自身の興味に応じて、芸術に関する理解をさらに深める
3. コミュニケーション科目群 | 芸術を社会につなぎ、多文化共生の礎を創る
4. プロジェクト科目群 | 学科横断的な環境のなかで、芸術の学びを社会で実践する
5. 日本文化科目群 | 藝術立国の理念に基づき、国際社会における日本の伝統文化について理解を深める
6. キャリアデザイン科目群 | 自己と社会に対する理解を深め、自身のキャリア形成を考える
7. 副専攻科目群 | 領域横断的な学びを通じて、主専攻での学びをさらに発展させる

副専攻は、新しい未来を芸術で切り開き、社会変革を行える人材を育成するため、専門科目（主専攻）での学びを主軸としながら、分野横断での体系的な学びを通じて、さらなる強み（知識・能力）を獲得し、主専攻での学びを応用・活用するために開設するものです。

専門科目

専門科目は、専門的な知識や理論、表現方法を、入門・基礎・応用・発展と段階的に身につけ、自身の研究・制作テーマを探求することを目的としたコア・カリキュラムから構成されます。すべての学科で地域社会や産業界と連携した社会実装型授業を導入し、芸術を社会に活かすことを実践的に学びます。各学年末には、それまでに学んだ知識や技術を統合し、高次の能力を発揮することを求める統合科目を設置し、1年を通じての学修到達度を測ります。「卒業研究・制作」において、4年間の学修成果として学位プログラムの達成度を測るとともに、その成果を広く社会に発信します。

《教育内容・方法》

初年次教育

芸術教養科目では、とくに「人間力」の基盤を形成し、芸術大学での基本的な学び方を身につけます。学科混成の少人数クラスで課題に挑む「クリエイティブワークショップⅠ・Ⅱ」や、言語的思考を通じて他者の価値観を尊重することを学ぶ「ことばとコミュニケーションⅠ・Ⅱ」など、これまでの学びを芸術大学での学びへとスムーズに接続するための入門科目を開講します。

専門科目では、とくに「創造力」の基盤を形成し、各専門領域で求められる知識と技術を獲得するための入門・基礎科目や、4年間の学修目標を理解し、自身で学修計画を立て主体的に学ぶための素養・能力を涵養するための入門科目を開講します。

進路教育

進路教育は、社会の変革を牽引することのできる人材の育成を教育目標に掲げる本学にとって、きわめて重要な教育です。芸術教養科目に開設するキャリア科目を通じて、本学での学びと社会の繋がりを理解するとともに、専門科目全体を通じて、自身が学んだ知識や技術を、自らの人生および社会のためにどう活かすかを考えます。また、キャリアデザインセンターが開講する正課外のプログラムや担当教員による定期面談など、きめ細やかな進路支援を行います。

教育方法および学修支援

授業の到達目標や評価基準、授業計画、事前・事後学修の内容などはシラバスに明記し、学生に提示します。授業は、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションといったアクティブ・ラーニングを多く取り入れるほか、反転学習を活用し、事前・事後学修の充実を図ることで、学生の主体的学修を促します。

4学期制(クォーター制)や週複数回授業を取り入れるほか、CAP制を設け学生が一度に学修する科目数を制限し、密度の高い学修を実現します。

各学期の始まりには、学生が学修目標や学修計画を立て主体的に学ぶことを支援するために、ガイダンスや担当教員による履修指導面談を実施します。学生は、担当教員とともに、学修管理システム(DPA)を活用して自身の学修状況をふりかえり、学修目標や学修計画を更新していきます。

さらに、一定の要件を満たした学生は、CAP上限を超えて履修登録が可能となるほか、成績不振学生には専門スタッフが学修アドバイスをを行い、改善を支援します。

《学修成果》

成績評価は、学部共通のガイドラインおよびシラバスに記載する各授業の評価方法・基準に則り厳格に行います。学生自身が到達度を把握できるよう、一部の科目をのぞいてルーブリックを導入します。成績や単位修得状況、GPA、外部試験結果等はDPAを通じて学生に提供し、学生は自身の学修成果をいつでもふりかえり、学修計画に役立てることができます。

アドミッション・ポリシー (求める学生像および入学者選抜の基本方針)

京都芸術大学芸術学部は、「藝術立国」の基本使命に基づき、芸術による社会の変革をめざしていくために、ディプロマ・ポリシーに掲げる「人間力」と「創造力」、およびそれらを構成する「6つの能力」を身につけた人材を育成します。

そのための入学者受け入れ方針として、本学の基本使命や教育目標に共感し、芸術を学び、芸術を社会に活かそうとする意欲を有していることに加え、以下のような資質・能力がある者を求めます。また、入学者選抜法としては、入学者に求める資質・能力をより適切に評価するために、多様な選抜方法を実施し、多面的・総合的な評価を行います。

【入学者に求める資質・能力】

1. 生涯を通じて学び続けるための基盤となる、基礎的・基本的な知識・技能を有している。
2. 知識・技能を活用して、答えが一つに定まらない課題も解決できる思考力・判断力・表現力を有している。
3. 主体性を持って行動し、多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている。

【入学者選抜方針】

体験授業型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)

1. 授業に臨む姿勢に、授業を通して新しいことを学びたいとする探究心が見られるか。
2. 初めて取り組む課題であっても、積極的に挑戦しようとする行動力が見られるか。
3. 出された課題に対して、様々な可能性を比較検討したうえで自らの答えを導き出す思考力、発想・構想力が見られるか。
4. 授業を通して、教員のアドバイスや他の学生の考え方に耳を傾け、相互に理解しようとする努力が見られるか。

面接型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)

1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. 芸術に限らず、部活動、ボランティア活動など情熱を持って打ち込んだものがあるか。
3. 本学で自分を成長させようとする意欲があるか。

科目選択型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)

1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. (鉛筆デッサン)芸術を学ぶうえで必要な基礎力としての「観察力・構成力・表現力」が身につけているか。
3. (小論文)芸術を学ぶうえでの基礎力としての「読解力・論理的思考力・文章表現力」が身につけているか。
4. (国語・英語)高校までの基礎学力「基本的知識・文章読解力等」が正しく身につけているか。

大学入学共通テスト利用型入試(Ⅰ期・Ⅱ期)

1. 高校までの基礎的な学習に実直に取り組んできた継続力が見られるか。
2. 芸術を学ぶうえでの基礎力としての「基本的知識・文章読解力・論理的思考力」が各教科において身につけているか。



学校法人 瓜生山学園
京都芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号

アドミッション・オフィス

☎ 0120-591-200

受付時間 | 月～土 9:00～17:30 (日曜・祝日・年末年始は窓口休止)

E-MAIL nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp

URL <https://www.kyoto-art.ac.jp>